

文献目録シリーズ No. 1

# 統計関係文献目録

(1988年-1994年)

1996年 1月 発行  
法政大学日本統計研究所

(文献は年次順、文献名、掲載誌・書名、発行機関、巻・号、年次順)

【ア】

秋山 喜文 アキヤマ ヨシフミ

- 「地域金融統計の現状について」『九州経済統計月報』九州経済調査協会 Vol.38 No.12, 1984  
「地域景気指標作成上の問題点」『長崎県立国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 24-2, 1990

揚 武雄 アゲ タケオ

- 「『デンジャラス カレンツ』について」『研究年報』大阪経済法科大学経済研究所 6・7合併号, 1988

朝倉 啓一郎 アサクラ ケイイチロウ

- 「磁気媒体データによる産業連関表の部門統合の分析」『経済データベースと経済データ・モデルの分析』九州大学出版会 1992  
「産業連関表の基本構成について－産業連関分析の成立過程」『統計学』経済統計学会 67号, 1994

【イ】

池田 伸 イケダ シン

- 「エコロジーの経済学のために(1)」『千葉商大紀要』千葉商科大学 1988  
「環境リスクの評価と管理：東京都多摩地域における廃乾電池処理の事例」『国府台経済研究』千葉商科大学経済研究所 2, 1989  
(共)『はん習統計学』梓出版社 1990  
「もうひとつのみどりの日：環境の<工場法>は可能か？」野沢・木下・大西編『自立と協同の経済システム』大月書店 1991  
(共)「環境の統計」「エネルギー産業」木下・土居・森編『統計ガイドブック』大月書店 1992  
「千葉県における環境問題と廃棄物問題」『千葉商科大学経済研究所ニューズレター』千葉商科大学経済研究所 1993

石井 啓雄 イシイ ヒロオ

- 「農地制度と耕作権」『不動産研究』日本不動産研究所 31-1, 1989  
(共)「戦後における地代政策の展開」花田仁伍編『現代農業と地代の存在構造』九州大学出版会 1990  
(共)『国土利用と農地問題』農文協 1991  
(共)「当面する農業構造問題」井野・重富・千葉編『日本農業再建の道標』筑波書房 1991  
「スイスの食糧自給政策」『経済』新日本出版社 327号, 1991  
「今日の日本農業と土地問題」『不動産研究』日本不動産研究所 36-1, 1994

石原 健一 イシハラ ケンイチ

- 「物価・家計統計」『社会科学としての統計学』（第2集）経済統計学会 1986  
 「H.Theilの物価指数数理論」『経済論集』関西大学 36-5, 1987  
 「最適効用水準 $U^*$ と最適価格体系 $p^*$ の選択」『岐阜経済大学論集』岐阜経済大学 21-1・2, 1987  
 「物価指数における品質の理論的取扱いについて」『岐阜経済大学論集』岐阜経済大学 22-2・3, 1988  
 「税込み消費者物価指数（TPI）の問題点とその適用」『岐阜経済大学論集』岐阜経済大学 22-4, 1989  
 「高齢者雇用の課題と展望」『高齢者雇用の課題と展望』岐阜県商工労働部・（財）岐阜県シンクタンク 1991  
 （共）『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992

泉 俊衛 イズミ トシエ

- 「経済統計学の課題と方法（その1）」『日本福祉大学経済論集』日本福祉大学経済学会 6, 1993  
 「経済統計学の課題と方法 その2」『日本福祉大学経済論集』日本福祉大学経済学会 8, 1994

泉 弘志 イズミ ヒロシ

- （訳）エドワード N. ウォルフ「生産性上昇率の減少と利潤率の低下 1947-76」『大阪経大論集』大阪経済大学 187・188, 1989  
 （訳）アンドリュウ・シャープ「マルクス経済学の実証的研究に関するサーベイ」『大阪経大論集』大阪経済大学 190, 1989  
 「労働価値計算による剰余価値率・有機的構成・利潤率の推計」『経済』新日本出版社 No. 309, 1990  
 「EC統計局型日本産業連関表－日本産業連関表の組み替え 1960-1985年」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 No. 33, 1990  
 「労働価値計算に基づく剰余価値率・利潤率の推計」『経済理論学会年報』経済理論学会 27集, 1990  
 「産業連関表1960-85年の利用のために」『大阪経大論集』大阪経済大学 200, 1991  
 「労働価値計算にもとづく剰余価値率の推計について－岩崎俊夫会員の批判に答える」『統計学』経済統計学会 61号, 1991  
 「統計にみる世界と日本の暮らし」『到来するか!? ボーダレス社会』湯川書房 1991  
 『剰余価値率の実証研究－労働価値計算による日本・アメリカ・韓国経済の分析』法律文化社 1992  
 『情報化社会の統計学－パソコンによるアプローチ』ミネルヴァ書房 1992  
 「EC統計局型アメリカ産業連関表－US産業連関表の組み替え 1972-1985年」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 No. 37, 1992  
 「日米の生産費格差の発生要因－産業連関分析の応用例」『大阪経大論集』大阪経済大学 212, 1993  
 『経済分析のための情報処理入門』法律文化社 1993  
 「剰余価値率」『労働統計の国際比較』梓出版社 1993  
 「EC諸国と比較可能な日本の産業連関表の作成」『大阪経大論集』大阪経済大学 216, 1993  
 「費用構造の国際比較－日本、アメリカ、西ドイツを例にとった産業連関分析」『大阪経大論集』大阪経済大学 216, 1993  
 "Recompilation of Japanese Input-Output-Table According to the European System of Integrated Economic Accounts (ESA)", *Review of Economics and Business*, Kansai

University, Vol. 22, No. 1・2, 1994

- 「費用構造の日米比較（上）－産業連関分析の応用」『E S P』経済企画庁 No. 265, 1994  
「費用構造の日米比較（下）－産業連関分析の応用」『E S P』経済企画庁 No. 266, 1994  
「パソコンによる経済データ分析ことはじめ－OECD国民経済計算データによる国際比較分析を例として」『大阪経大論集』大阪経済大学 別冊 1号, 1994  
「E U型日本産業連関表（改訂版）－日本産業連関表の組み替え 1980-1990年」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 No. 44, 1994

伊田 昌弘 イダ マサヒロ

- 「成熟寡占市場における製品差別化－最近の日本自動車メーカーによる品質強化競争について－」  
『阪南論集社会科学編』阪南大学 27-2, 1991  
"Why did Nissan Have to Close Australian Auto-manufacturing Plant?" 『阪南論集社会科学編』  
阪南大学 28-3, 1993  
「オーストラリアにおける日系自動車産業について－とりわけ日産撤退問題に寄せて－」『阪南論  
集社会科学編』阪南大学 30-1, 1994

市橋 勝 イチハシ マサル

- 「産業別T.F.P.と企業収益率の推移」『統計学』経済統計学会 57号, 1989  
「企業収益率と資本構成の推移」『経済論叢』京都大学 144-5・6, 1989  
「TFPと有機的構成の関連について」『高知論叢』高知大学 39, 1990  
(共) 『統計ガイドブック』大月書店 1992  
「カロリー換算によらないエネルギー量の測定(1)」『高知論叢』高知大学 46, 1993  
「カロリー換算によらないエネルギー量の測定(2)」『高知論叢』高知大学 47, 1993  
「日本の上場企業におけるエネルギー消費効率について」『高知論叢』高知大学 48, 1993  
「ライフイズム経済学序説」『高知論叢』高知大学 49, 1994

伊藤 国彦 イトウ クニヒコ

- (共) 『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992  
(共) 『財政改革と金融変革－公的金融の役割』四国郵政局貯金部委託研究報告 1994

伊藤 陽一 イトウ ヨウイチ

- 「合衆国連邦統計における1980年代前半統計行革と予算削減」『経済志林』法政大学 57-1, 1988  
「合衆国連邦労働統計機関の発足」『経済論集』北海学園大学 36-3, 1989  
「覚え書き－政府統計の理解・批判の視角について」法政大学日本統計研究所『労働統計研究プロ  
ジェクト ワーキング・ペーパー』No. 2, 1989  
「労働時間の国際比較とその問題点－サーヴェイ」法政大学日本統計研究所『労働統計研究プロ  
ジェクト ワーキング・ペーパー』No. 3, 1989  
「賃金の統計的国際比較－サーヴェイ」法政大学日本統計研究所『労働統計研究プロジェクト ワ  
ーキング・ペーパー』No. 4, 1989  
(編集) 「国際労働統計比較表集成 I～IV」法政大学日本統計研究所『労働統計研究プロジェクト 参考資

- 料』梓出版社 No. 1~4, 1989~1990
- 「統計と国民の密着」『統計』日本統計協会 1月号, 1990
- (共訳) R. ビーン編著・法政大学日本統計研究所訳『国際労働統計—手引きと最近の傾向』梓出版社 1990
- (訳・編集) 「国際労働統計家会議決議集—原文・邦訳対照 I, II」法政大学日本統計研究所『労働統計研究プロジェクト 参考資料』No. 5, 6, 1990
- 「統計と性差別」『統計』日本統計協会 1月号, 1991
- 「合衆国第一回人口センサス(1790)について」『経済志林』法政大学 58-3・4, 1991
- (共訳) L. クリュエーガー編著『確率革命—社会認識と確率』梓出版社 1991
- 「第3回独立 I A O S (政府統計に関する国際会議) アンカラ大会に出席して」『統計学』経済統計学会 64号, 1993
- 「労働統計の国際比較をめぐって」、「賃金・労働費用」、「労働組合と労働争議」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』梓出版社 1993
- (共訳) 「『女性と統計』関連主要文献目次・序文等翻訳集」法政大学日本統計研究所『統計研究参考資料』39, 1993
- (共訳) 「ジェンダー統計の現状」法政大学日本統計研究所『統計研究参考資料』42, 1994
- (編著) 『女性と統計—ジェンダー統計論序説』梓出版社 1994

稲田 義久 イナダ ヨシヒサ

- 「E. C. 統合の経済的効果—世界モデルによる数量分析—」『立命館経済学』立命館大学 42-2, 1993
- (共) 「環太平洋における経済成長と環境問題—計量モデルによる分析—」『立命館経済学』立命館大学 43-1, 1994
- (共) 「近畿経済計量モデルの開発とその応用」『立命館経済学』立命館大学 43-4, 1994

稲葉 和夫 イナバ カズオ

- (共) 「産業別日本経済マクロ計量モデルの計測」『立命館経済学』立命館大学 39-4, 1990
- 「日本企業の海外事業活動と貿易効果」『立命館経済学』立命館大学 41-5, 1992
- (共) 「海外直接投資行動を含む日本経済マクロモデルのシミュレーション分析」『立命館経済学』立命館大学 42-3, 1993

岩井 浩 イワイ ヒロシ

- (共) 「労働力・階級構成と雇用構造—低成長下における労働者状態の統計指標—」『調査と資料』関西大学経済・政治研究所 66号, 1988
- 「情報化・サービス化と雇用」『経済学へのアプローチ』3章 ミネルヴァ書房 1989
- 「アメリカの1930年失業センサスについて—『失業調査表』の検討」『雇用・失業問題の研究(2)』『研究双書』68冊 関西大学経済・政治研究所 1989
- 「失業救済調査と労働力方式の形成—『失業救済調査表』を中心に」『経済論集』関西大学 39-2, 1989
- 「失業救済と労働力方式—雇用状態の規定—」『統計学』経済統計学会 57号, 1989
- 「合衆国における労働力統計の確立について—『調査表』と雇用状態の規定」『経済論集』関西大学 40-2, 1990
- (訳) 「失業」R. ビーン編著・法政大学日本統計研究所訳『国際労働統計—手引きと最近の傾向』

梓出版社 1990

『労働力・雇用・失業統計の国際的展開』 梓出版社 1992

(共編) 『情報化社会の統計学—パソコンによるアプローチ—』 ミネルヴァ書房 1992

「失業統計の国際比較の動向と試算について」『商学論集』関西大学 37-3・4, 1992

(共) 「現代労働力の雇用構造・階層構造の統計的研究」『研究双書』84冊 関西大学経済・政治研究所 1993

「失業・不安定就業」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』梓出版社 1993

(資料) 「海外統計事情・ILO第15回国際労働統計家会議（ICLS）について」『統計学』経済統計学会 65号, 1993

「国際従業上地位分類（ICSE）の改定について」『経済論集』関西大学 44-5, 1994

岩崎 允胤 イワサキ チカツグ

「「はじめてのものに」—立原道造への追想」『大阪経済法科大学論集』大阪経済法科大学 51, 1993

「鎌倉期の新仏教とその基本性格（上）」『大阪経済法科大学論集』大阪経済法科大学 44, 1991

「国学思想の成立と展開(1)—その前期、契沖・春満・真淵について—」『大阪経済法科大学論集』 53, 1993

「水戸学とその思想」『大阪経済法科大学論集』大阪経済法科大学 50, 1992

岩崎 俊夫 イワサキ トシオ

「ソ連における女性就業者の構成と推移 —1959年、1970年『人口調査』を資料として—」『経済論集』北海学園大学 36-1, 1988

「働く婦人の生活様式、生活行動 —札幌、函館、旭川での調査結果を参考に—」『経済論集』北海学園大学 36-2, 1988

「産業連関表にもとづく剰余価値計算と社会的必要労働量による価値量規定命題」『経済論集』北海学園大学 36-4, 1989

「剰余価値率の統計計算と市場価値論次元の社会的必要労働—泉方式の意義と限界—」『経済論集』北海学園大学 37-4, 1990

「価値レベル剰余価値率計算の泉方式について」『統計学』経済統計学会 59号, 1990

「ソ連の人口動態と構成」『日ソ経済調査資料』706, 1991

「段階的に進むSNA（国民経済計算）採用の背景」『デュレティン』ソビエト研究所 16, 1991

「ペレストロイカとソ連の女性労働」『賃金と社会保障』1060, 1991

「民主的計画化のマクロ計量モデルに関する一考察—検討：モデル・政策・理論の整合性—」『立教経済学研究』立教大学 45-4, 1992

「ソ連における国民経済計算体系の方向転換—MPSとSNAとの統合」『北大経済学研究』北海道大学 41-4, 1992

「女性労働に関する統計指標の国際的展開」『立教経済学研究』立教大学 46-1, 1992

「ペレストロイカの中の旧ソ連統計界が投げかけたもの」『統計学』経済統計学会 63号, 1992

「女性労働と統計—経済活動人口の指標を中心に—」『賃金と社会保障』1108, 1993

「女性労働」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』梓出版社 1993

「『応用統計学』をめぐる論争とその背景」『立教経済学研究』立教大学 48-2, 1994

「職業別性別隔離指数」、「国民経済計算体系（SNA）と女性労働—経済活動人口の定義と生産境界の規定との関連をめぐって—」伊藤編著『女性と統計—ジェンダー統計論序説』梓出版社 1994

【ウ】

上田 和宏 ウエダ カズヒロ

- 「アパレル産業の海外展開—岐阜アパレル産業を中心として—」『日本福祉大学経済論集』日本福祉大学 5, 1992  
「経済成長の国際的連関」『日本福祉大学経済論集』日本福祉大学 7, 1993

内海 健寿 ウツミ ケンジュ

- 「統計学史上におけるヨハン・ペーター・ズースミルヒ」『会津短期大学学報』会津短期大学 44, 1987  
「ウイリアム・ダーラムの人口統計論の歴史的意義」『会津短期大学学報』会津短期大学 45, 1988  
「ステジランドの目に映じたズースミルヒ—人口増加の意味を問う—」『統計学』経済統計学会 56号, 1989  
「福島県製造業労働者の規模別賃金格差の推移について」『会津短期大学研究年報』会津短期大学 48, 1991  
「マルサスの Moral Restraint (道徳的抑制) について」『マルサス学会年報』マルサス学会 3, 1991  
「マルサスの神学思想と私有財産制論」『松平記念経済・文化研究所紀要』関東学園大学松平記念経済・文化研究所 12, 1994

浦坂 純子 ウラサカ ジュンコ

- 「戦後資本係数の長期変動と産業構造変化仮説」『大阪市大論集』大阪市立大学大学院経済・経営学研究会 77, 1994

【オ】

大西 広 オオニシ ヒロシ

- 『「政策科学」と統計的認識論』昭和堂 1989  
「統計的認識における『仮説』の位置付けについて」『統計学』経済統計学会 55号, 1989  
「『「政策科学」と統計的認識論』への批判に答えて」『統計学』経済統計学会 60号, 1991  
「過労死をどうなくすか—『どう認定するか』でなく『どうなくすか』の議論を」『窓』14, 1992  
"The Rise and Fall RIM-PAC Countries -- A Research by a Long term Econometric Model of Post-War RIM-PAC Relations" *Proceedings of the Asian Conference on Statistical Computing* 1993.  
"Situation of the Asian-Pacific Economies in the 21st Century", *Proceedings of the 10th Academy of International Business Southeast Asia Regional Conference on Asia-Pacific Business Year 2000*, 1994  
「レーニン『帝国主義論』の計量経済モデル」『経済論叢』京都大学 154-3, 1994  
"An International Econometric Model Based on Lenin's Theory of 'Imperialism' -- A Rese-

大屋 祐雪 オオヤ ユウセツ

- 「情報化社会と統計法」『統計』日本統計協会、39-1, 1988
- 「統計調査票について」『経済論集』北海学園大学 36-3, 1989
- 「社会科学としての統計学」『現代統計学の諸問題』産業統計研究社 1990
- 「統計作業について」『北九州大学商経論集』北九州大学 26-3・4, 1991
- 「調査環境について」『立教大学経済学研究』立教大学 45-4, 1992
- 「官庁統計制度と統計調査の現状」、(共)「統計調査と統計調査論」『日本統計学会誌』22-3 所収 1993

岡部 純一 オカベ ジュンイチ

- 「調査論の基本問題－調査の対象規定をめぐって」『統計学』経済統計学会 53号, 1987
- 「物価指数論から物価指標体系論へ」『統計学』経済統計学会 56号, 1989
- 「消費者物価指数の両義性－生計費指数と物価指数」北海道大学 *Discussion Paper, Series B*, No. 2 1990
- 「北海道職安業務統計の抽象性－データ不突合の積極的利用に基づく一考察」『北大経済学研究』北海道大学 41-4, 1992
- 「職安業務統計のカバレッジに関する研究」『アルテス・リベラレス』岩手大学 51, 1992
- 「職安業務統計システムによる地域研究の可能性」『アルテス・リベラレス』岩手大学 53, 1993

小川 雅弘 オガワ マサヒロ

- (書評) E. N. Wolff ed., *International Comparisons of the Distribution of Household Wealth*, 『統計学』経済統計学会 56号, 1989
- (共・資料) 「EC標準産業分類(NACE)」法政大学日本統計研究所オケージョナルペーパー, No. 1 法政大学日本統計研究所 1990
- 「年齢構成変化と所得不平等度－パグリン尺度による計測－」『大阪経大論集』大阪経済大学 49-1, 1991
- 「大学生満足度の規定要因－リクルート『大学別満足度調査』をどう読むか－」『大阪経大論集』大阪経済大学 50-2, 1992
- (書評) 「土居英二『政策科学と数量分析』」『統計学』経済統計学会 63号, 1992
- 「社会会計行列(SAM)ノート」『大阪経大論集』大阪経済大学 52-2, 1994
- 「イギリスの所得分布統計」『統計学』経済統計学会 67号, 1994

小黒 正夫 オグロ マサオ

- 「価値形態論論争の一局面－価値物・価値体論によせて」『旭川大学紀要』旭川大学 27, 1988
- 「マルクスにおける価値概念の確立について」『旭川大学紀要』旭川大学 30, 1990

小田 滋晃 オダ シゲアキ



- 「卸売市場の分荷圏推定モデルの情報論的研究—「市場依存度モデル」の構造と決定」『農業計算学研究』京都大学農学部農業簿記研究施設 24, 1991
- 「卸売市場の施設規模算定方法に関する一考察—花き卸売市場の事例研究を中心として」『農業計算学研究』京都大学農学部農業簿記研究施設 25, 1992
- (共) 「経営規模論」『農業経営研究の課題と方法—日本農業の現段階における再検討』所収 日本評論社 1993
- 「卸売市場経営のシミュレーション分析—第3セクター方式による市場開設者の経営収支を中心として」『農業計算学研究』京都大学農学部農業簿記研究施設 26, 1993
- "Japan", in *Oilseed Production and Marketing in Asia and the Pacific*, Chapter 6, Part IV, Asian Productivity Organization, 1994
- (共) 「日本の施設園芸における経営規模拡大と協業化に関する経済分析」『先端農業施設の発展方向』韓国農業振興公社シンポジウム報告集 1994
- (共) 「農業・農村情報化の費用と便益」『オフィス・オートメーション』オフィス・オートメーション学会 15-34, 1994
- 「園芸作におけるファームサービス事業者の展開と事業体育成の方向—徳島県園芸作農業における事例分析を中心にして」『農業計算学研究』京都大学農学部農業簿記研究施設 27, 1994

## 【カ】

柿沼 大司 カキヌマ ダイシ

- 「合理的期待仮説モデルにおける2・3の問題点について」『国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 22-1, 1988
- 「統計的集団について」『国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 22-2, 1989
- 「代表値の種類とその関係」『国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 22-3・4, 1989
- 「統計の真実性と統計調査法(Ⅱ)」『国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 23-2, 1989
- 「統計の真実性と統計調査法(Ⅲ)」『国際経済大学論集』長崎県立国際経済大学 23-3・4, 1990
- 「科学について」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 25-1, 1991
- 「政治経済学の新たな構築のために」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 25-3・4, 1992

片桐 誠士 カタギリ セイシ

- 「ロワイエ法の運用とフランス小売商業政策」日本商業学会北海道部会 1991

桂 昭政 カツラ アキマサ

- 「政府の現物移転とMPS」『経営経済論集』桃山学院大学 31-1・2合併号, 1989
- 「国民経済計算体系(SNA・ESA)と政府の現物移転」『経済経営研究叢書』神戸大学経済経営研究所 39, 1991
- 「トービン・ノードハウスのMEWと経済福祉—MEWの批判的検討」『経営経済論集』桃山学院大学 33-4, 1992
- 『国民経済計算と経済厚生』桃山学院大学総合研究所 研究叢書 4号, 1992
- 「SNAのサブシステムとしてのサテライト勘定・環境勘定」『経営経済論集』桃山学院大学 35-3, 1993

金子 治平 カネコ ジヘイ

- (共) 「野菜価格安定制度の計量分析」『農業経済研究』日本農業経済学会 59-1, 1987
- (共) 「食糧制度および米流通の新しい動向と課題」山本修編『日本農業の課題と展望』家の光協会 1990
- 「明治期の作物統計」三好正喜教授定年退官記念事業会編『小農の史的分析＝農史研究の諸問題』富民協会 1990
- 「明治前期福井県における作物統計調査と統計書」『神戸大学農業経済』神戸大学 25号, 1991
- 「統計書の時系列データの管理」『神戸大学農業経済』神戸大学 26号, 1992
- (共) 『福井県史 資料編 17 統計』福井県 1993
- 「明治・大正期の統計調査・報告過程－福井県を事例として」『統計学』経済統計学会 65号, 1993
- (書評) 「『三重県史』別編統計」『三重県史研究』 10号, 1994

川副 延生 カワゾエ ノブオ

- (資料) "A Historical Souce by Means of Interviews (I)" 『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 34-1, 1989
- (資料) "A Historical Souce by Means of Interviews (II)" 『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 34-2, 1991
- 「同時方程式モデルでのモンテカルロ法による分析」『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 34-2, 1990
- 「同時方程式モデルでの OLS, TSLS および LIM1 の優劣比較の数値評価」『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 35-1, 1990
- 「中国東北地区における小売物価地域差指数の試算」『統計学』経済統計学会 62号, 1992
- 「中国における小売物価地域差指数と所得・消費水準」『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 37-1, 1992
- 「中国における小売物価指数の調査銘柄について」『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 38-1, 1993
- 「中国における家計調査の方法について」『名古屋商科大学論集』名古屋商科大学 38-2, 1994

【キ】

菊地 進 キクチ ススム

- 「DOR予備調査報告」『構造変化と中小企業』中小企業家同友会 産構研レポート 1集, 1990
- 「推計課税の問題点」『立教経済学研究』立教大学 44-1, 1990
- 「各種景況調査とDOR」『中小企業 90年代の選択』中小企業家同友会 産構研レポート 2集, 1991
- 「広田純先生の人と学問」『立教経済学研究』立教大学 45-4, 1992
- 「最近の企業間格差の実態」『市場メカニズムと中小企業』中小企業家同友会 産構研レポート 3集, 1992
- 「労働時間短縮と企業間競争の激化」『同友会景況調査報告(DOR)』中小企業家同友会 10号, 1992
- 「労働時間短縮と政府統計の諸問題」『同友会景況調査報告(DOR)』中小企業家同友会 11号,

1992

「労働時間短縮と労働時間統計」『立教経済学研究』立教大学 46-4, 1993

「連立方程式問題」高橋一編『計量経済学』9章 八千代出版 1993

「DOR特別調査と他機関の調査結果」『同友会景況調査報告(DOR)』中小企業家同友会 16号, 1993

「小企業ほど低い経営効率」『月刊サクセスリンク』ベンチャーリンク社 1993

「マクロ経済政策の展開」小西・服部・北川編『経済学のオプティミズム』9章 ミネルヴァ書房 1994

「広く深く進行する『新価格革命』」『同友会景況調査報告(DOR)』中小企業家同友会 22号, 1994

「計量経済モデル分析における時系列解析の復位」『立教経済学研究』立教大学 48-3, 1994

喜多 克己 キタ カツミ

「アメリカ移民統計と『非合法』外国人労働者」『研究所報』法政大学日本統計研究所 No. 15 1990

「1980年代アメリカ農業雇用労働とデータ問題」『経済志林』法政大学 58-1, 2, 1990

北川 豊 キタガワ ユタカ

「サービス産業という用語法-Industryと産業の語意について-」『統計学』経済統計学会 62号, 1992

木下 滋 キノシタ シゲル

「標本調査の諸問題」『経済論叢』京都大学 116-3・4, 1975

「誤差」、「標本」、「任意抽出標本調査」『大月経済学辞典』大月書店 1979

「テクノポリスと東海現状テクノベルト構想」『地域経済』3集, 1983

日本経済の現状と民主的改革 置塩信雄・野沢正徳編『日本経済の数量分析-危機的現状と民主的改  
革』大月書店 1983

「大阪市企業調査の報告」『阪南論集-社会科学編』22-3, 1986

(共) 「情報経済論の検討」『阪南大学情報科学研究』2号, 1988

「国際所得・国富学会第20回総会に参加して」『統計学』経済統計学会 54号, 1988

「フィラデルフィアの産業構造と都市構造」『阪南論集-社会科学編』26-1, 1990

「ソフト化経済の光と影-大阪産業の課題」大阪自治体問題研究所編『世界都市とリバブル都市-大  
阪21世紀への選択』自治体研究社 1991

(共) 『府民生活データブック-衛生都市版』大阪衛生都市職員労働組案連合会・大阪自治体問題研究所  
1990

「Made in 大阪-大阪企業組合のヒアリング報告1990年」*Occasional Paper*, The Institute of  
Industrial and Economic Research, Hannan University, No. 1, 1991

「新しい産業構造-人間的な情報化社会の可能性」野沢正徳・木下滋・大西広編『自立と共同の経済  
システム』所収 大月書店 1991

「比率・寄与度・指数」、「産業統計の体系と産業構造」、「鉱工業の統計」、「商業・サービス統  
計」岩井浩・泉弘志・良永康平編『情報化社会の統計学-パソコンによるアプローチ』ミネ  
ルヴァ書房、1992

- "A Case Study of Japanese Auto-Transplants in USA", *Occasional Paper*, The Institute of Industrial and Economic Research, Hannan University, No.1-20, 1992  
「対米進出自動車工場の一事例」『阪南論集-社会科学編』28-2, 1992  
(共)『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992  
「郊外化と一極集中」重森暁・遠州尋美編『都市再生の政治経済学-日米都市の比較研究』所収 東洋経済新報社 1993  
(訳) R. C. ヒル・K. クニコ「大阪の東京問題」『阪南論集-社会科学編』30, 1994

木村 和範 キムラ カズノリ

- 「統計的推論の普及とその社会的背景」『経済論集』北海学園大学 36-3, 1989  
(訳) F. フェルシュル「『統計的集団』の概念について」『経済論集』北海学園大学 37-2, 1989  
(訳) F. フェルシュル「書評 シュニーバイス=シュトレッカー編『計量経済学と統計学—メンゲス追悼—』」『経済論集』北海学園大学 38-1, 1990  
(訳) H. シュニーバイス「主観確率批判にたいする批判的覚書き」『経済論集』北海学園大学 38-1, 1990  
(書評) Anderson & Loynes: *The Teaching of Practical Statistics*, Wiley, New York 1987, XII+199pp", *Statistical Papers/Statistische Hefte*, Vol.31, No.2, 1990.  
「中心極限定理覚書—L. ホグベンの証明」『経済論集』北海学園大学 39-2, 1992  
(共訳) クリュエーガー他編著『確率革命—社会認識と確率』梓出版社 1992  
「VDT障害と統計的仮説検定—VDT労働と妊娠婦結の関係について」『経済学研究』北海道大学 41-4, 1992  
『統計的推論とその応用』梓出版社 1992  
「ベイズの定理にかんするL. ホグベンの見解」『経済論集』北海学園大学 41-3, 1993  
(資料)「1990年国勢調査1%抽出集計結果の正確性(1)」『経済論集』北海学園大学 42-1, 1994  
(資料)「1990年国勢調査1%抽出集計結果の正確性(2)」『経済論集』北海学園大学 42-2, 1994

## 【ク】

沓沢 隆 クツザワ タカシ

- 「地域における水産練製品製造業の存立構造-地域間比較を中心として-」『経済論集』北海学園大学 36-3, 1989  
「中小企業問題の本質について-成果と問題との一体的把握のための一試論-」『北海道女子短期大学紀要』25号, 1990  
「企業間競争に作用する法則の研究」『北海道女子短期大学紀要』北海道女子短期大学 27号, 1992  
(共)「離島産業の盛衰と地域形成-基本原型の確立過程と商業構造・意識調査-」『北海道経済調査』13号, 1993  
「中小企業のイメージについて(北海道女子短期大学1993年入学者の社会に対する意識調査)」『北海道女子短期大学紀要』北海道女子短期大学 28号, 1993  
(共)『北海道経済図説』北海道大学図書刊行会 1990

工藤 弘安 クドウ ヒロヤス

- 「統計行政の歩み(VI)」『統計情報』全国統計協会連合会 Vol. 37, 1988

- 「統計調査における秘密保護と利用促進」『統計調査における目的外使用制度等に関する調査研究委員会報告書』所収 全国統計協会連合会 1988
- 「わが国の統計制度」『Management & Coordination』総務庁 No.53, 1988
- 「統計制度の新たな展開」『統計情報』全国統計協会連合会 Vol. 38, 1989
- 「レジスター・ベースの統計制度」『研究所報』法政大学日本統計研究所 No. 16, 1989
- "Basic Survey on Service Industries", *The Survey Statistician*, IASS, nr.22, 1989
- 「統計調査調整機関」『統計学辞典』東洋経済新報社 1989
- 「統計調査における情報提供(Ⅱ)－事例研究:デンマークその1」『経済研究』成城大学 108号, 1990
- 「統計法改正に関する座談会」統計調査ヒアリング・シリーズ 法政大学日本統計研究所 No. 1, 1990
- 「昭和統計制度史考」『統計』日本統計協会 41-6, 1990
- 「商品分類の経緯と展開」『統計情報』全国統計協会連合会 Vol. 39, 1990
- 「商品に関する国際標準分類の系譜」『経済と文化』所収 新評論 1991
- (共)『国際統計に関する調査研究－サービス統計と分類を中心として－結果報告書』全国統計協会連合会 1991
- 「国際統計の現状と動向－特に国際経済分類について」『統計学』経済統計学会 62号, 1992
- (書評)「『社会・経済統計ガイドブック』『統計学』経済統計学会 64号, 1993
- 「統計制度論」「官庁統計制度と統計調査の現状」所収 『日本統計学会誌』22-3, 1993
- 「公認統計士」『統計』日本統計協会 44-12, 1993
- 「森田優三と統計行政」『統計』日本統計協会 45-7, 1994
- 「産業分類改訂の回顧と展望」『統計情報』全国統計協会連合会 Vol. 43, 1994

久保庭 真彰 クボニワ マサアキ

- 「ソ連経済ペレストロイカと数理経済学派－価格改革を中心として－」『経済研究』一橋大学経済研究所編集 岩波書店 39-2 1988
- 「ロシア経済の構造－プレリュード」『経済研究』一橋大学経済研究所編集 岩波書店 43-4, 1992
- 「ペレストロイカと経済的厚生(1)－国民所得・投入産出勘定、所得分布、非公式所得－」『経済研究』一橋大学経済研究所編集 岩波書店 41-2, 1990
- 「ロシア経済の構造－1990-1993年－」『経済研究』一橋大学経済研究所編集 岩波書店 45-2, 1994
- "The Structure of Russian Foreign Trade in Transition", *Hitotsubashi Journal of Economics*, Hitotsubashi University Vol. 35 No. 2 Dec. 1994
- "Prospects for Restructuring the Soviet Price and Finance System", *Hitotsubashi Journal of Economics*, Hitotsubashi University Vol. 29 No. 2 Dec. 1988

蔵原 清人 クラハラ キヨト

- 「日本における数学教育心理学の歴史(戦後期)」『工学院大学 研究論叢』工学院大学 27号, 1989
- 「雑誌『教育研究』算術教育関係論文目録(戦前期)」『工学院大学研究論叢 共通課程』工学院大学 No. 29, 1991
- 「金沢における和算教育－藩校明倫堂を中心に－」『工学院大学 共通課程 研究論叢』工学院大学 30号, 1992

「近世北陸地方における数学の普及と発達－大聖寺藩の場合－」『工学院大学 共通課程研究論叢』  
工学院大学 32号, 1994

黒川 博 クロカワ ヒロシ

「第一次大戦中のU. S. スティール社の事業展開－基準設定機関を中心として－」『岐阜経済大学論  
集』岐阜経済大学 22-2・3, 1988

「アメリカ鉄鋼企業における時間研究－アトランタ製鋼の場合－」『岐阜経済大学論集』岐阜経済  
大学 28-2・3, 1994

「1920年代におけるアメリカ鉄鋼業の構造的変化－軽薄鋼体への移行について－」『岐阜経済大学  
論集』岐阜経済大学 24-4, 1991

黒坂 真 クロサカ マコト

「地価の一時的決定について－金融政策の地価への影響－」『大阪経大論集』大阪経済大学 45-2,  
1994

## 【コ】

小坂 直人 コサカ ナオト

「「電気革命」とドイツ電力産業の形成過程」『北海学園大学経済論集』北海学園大学 37-1,  
1989

「省エネルギー経済についての予備的考察」『北海学園大学経済論集』北海学園大学 38-4, 1991

「公私混合企業の性格規定によせて」『北海学園大学経済論集』北海学園大学 40-3, 1993

「市場万能主義と第三セクター」『北海学園大学経済論集』北海学園大学 42-1, 1994

小林 正人 コバヤシ マサト

「『情報化社会』をどうとらえるか」『経済科学通信』 58号, 1988

「経済と軍事における情報化」『日本の科学者』 23-2, 1988

「オートメーション、ME革命と労働の未来」基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造－新資  
本論入門 12講』昭和堂 1989

「岐阜県における産業構造の変化と製造業の動向」『地域経済』岐阜経済大学地域経済研究所 9  
集, 1989

「資本主義経済におけるME革命」『岐阜経済大学論集』岐阜経済大学 22-4, 1989

「労働時間の短縮－市場メカニズムの人間化を求めて」野澤正徳・木下滋・大西弘編『自立と協  
同の経済システム』大月書店 1991

「情報化・ME化と労働の変貌」東井正美・盛岡孝二編『日本経済へのアプローチ』ミネルヴァ書房  
1992

「『情報化』を考える－技術の発展」『経済』新日本出版社 336号, 1992

「日米工作機械産業の盛衰－産業技術発展の日米比較のために」『岐阜経済大学論集』岐阜経済大  
学 26-2, 1992

「日本工作機械産業の技術発展の統計的分析－その独特な世界的地位」竹岡敬温・高橋秀行・中岡哲  
郎編『新技術の導入－近代機械工業の発展』同文館 1993

「三菱自動車工業岡崎工場見学の記録」『地域経済』岐阜経済大学地域経済研究所 14集, 1994

是永 純弘 コレナガ スミヒロ

- 「システム思考と社会認識」『経済分析と統計的方法』産業統計研究社 1982  
「社会情報としての統計の利用」『経済論集』関西大学 36-5, 1987  
「社会情報の真実性とその利用について」『経済論集』北海学園大学 36-1, 1988  
「統計の情報特性について」『立教経済学研究』立教大学 45-4, 1992  
「社会情報の対象反映性」『札幌唯物論』札幌唯物論研究会 38号, 1993

(共訳)『現代経済システムの再検討』梓出版社 1983

(共)『経済学辞典第3版』岩波書店 1992

近 昭夫 コン アキオ

「浜松地域における雇用の動向」上原信博編著『先端産業と地域開発』御茶の水書房 1988

「科学史研究者による統計学史研究について」『統計学』経済統計学会 58号, 1990

(訳)ピーン『国際労働統計』梓出版社 1990

(書評) Mary Morgan, *The History of Econometric Ideas*, 『統計学』経済統計学会 60号, 1991

(共訳) クリューガー他著『確率革命』梓出版社 1991

「"経済のサービス化"の実態を把握する一つの試み」上原信博編著『構造転換期の地域経済と国際化』御茶の水書房 1992

「就業構造の変化-経済のサービス化をめぐる」伊藤陽一・岩井浩・福島利夫編『国際比較 労働統計』梓出版社 1993

"An Issue Concerning Service Economy and Industrial Classification", *Proceedings of the Third Independent Conference of International Association for Official Statistics*, International Statistical Institute, 22-25 September, 1992, Ankara, Turkey.

「ISI 第49回(フィレンツェ)大会に参加して」『統計学』経済統計学会 58号, 1994

「研究目的および今年度の研究経過と成果」『企業情報データベースによる日本経済のグローバル化の実態把握に関する総合研究』1991

「海外進出日系企業の経済活動にかんする統計データについて」『企業情報データベースによる日本経済のグローバル化の実態把握に関する総合研究』1991

(共)「日本企業のカナダ進出の現状に関するヒヤリング調査報告」『法経研究』静岡大学 43-3, 1994

## 【サ】

坂田 幸繁 サカタ ユキシゲ

「季節調整済計数と季節調整法-センサス局法Ⅱ(X-11)とBayseaを中心に」『経済学論纂』中央大学 31-12, 1991

「労働需給指標の時系列特性-トレンド解析を中心に」『中央大学経済研究所年報』中央大学 21, 1991

坂元 慶行 サカモト ヨシユキ

- 「最適なクロス表の選択法」村上・田村編『パソコンによるデータ解析』朝倉書店 1988
- (共)「CATDAP」村上・田村編『パソコンによるデータ解析』別売ソフト 朝倉書店 1988
- 「階層分化と中流意識(1)」『日経流通新聞』日本経済新聞社 1988年5月28日号 1988
- (共)"A Bayesian approach to nonparametric test problems", *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* 40-3, 1988.
- 「社会調査データの解析法」『ENGINEERS』日本科学技術連盟 No. 481 1988
- (共)「カテゴリカルデータのモデル分析—プログラムCATDAP—01, 02(改訂版)の紹介」『統計数理』統計数理研究所 36-2, 1988
- 「統計調査はどう行なうか」『日経流通新聞』日本経済新聞社 1989年5月28日号~8月5日号(8回連載) 1989
- (共)『統計数理研究所研究リポート69 国民性の研究 第8回全国調査—1988年全国調査』統計数理研究所 36-2, 1988
- 「『情報量統計学』の現状と課題」大屋祐雪編『現代統計学の諸問題』産業統計研究社 1990
- 「継続調査から何がわかるのだろうか」『中央調査報』中央調査社 400号, 1991
- (共)"WIC: An Estimator-Free Information Criterion", Research Memorandum, The Institute of Statistical Mathematics, No. 410, 1991
- 「標本調査法」大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典 第3版』岩波書店 1992
- (共)『第5 日本人の国民性』出光書店 1992
- Categorical Data Analysis by AIC*, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, Holland, 1991
- 「統計学の効用」『教育と情報』第一法規出版 No. 416, 1992
- 「赤池情報量基準、適合度検定」等15項目 森岡清美・塩原勉・本間康平編『新社会学辞典』有斐閣 1993
- "Categorical Data Analysis by AIC", *Proceedings of the First US/Japan Conference on the Frontiers of Statistical Modeling: An Informational Approach*, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, Holland, 1994
- 「質的な事象の要因を探す」『統計数理研究所創立50周年記念・日経NEEDS20周年記念 データを科学的に読む』統計数理研究所・日経データ 1994
- (共)『統計数理研究所研究リポート75 国民性の研究 第9回全国調査—1993年全国調査』統計数理研究所 1994
- 「価値や視線は私生活に集中—『日本人の国民性調査』から—」『FORUM』日本経済新聞社 日経産業消費研究所 NO. 121, 1994

佐藤 智秋 サトウ トモアキ

- (共)「マイコンによる経済計算」『商学論纂』中央大学 29-4, 1988
- 「ソ連産業連関表の作成過程」『大学院研究年報(経済学・商学研究科篇)』中央大学大学院、18号, 1989
- (訳)ゲ・イ・ハーニン著「1988年の数字の考察(上・下)」『日ソ経済調査資料』ソビエト研究所 685・686号, 1989
- 「Г. И. ハーニンによるソ連経済統計の代替評価について」『大学院研究年報(商学研究科篇)』中央大学大学院 19号, 1990
- (共訳)ロジャー・スクルスキ著『ソ連経済と流通』中央大学出版部 1991
- 「ソ連における経済統計の改革」『商学論纂』中央大学 33-2, 1991
- 「ソ連における近年のインフレの測定について」『企業研究所年報』中央大学企業研究所 13号, 1992



- 『ソ連の経済統計-インフレーションの推計』中央大学 1993  
(共訳) 「ロシアにおける統計制度・政策の改革」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 43号,  
1994  
(共) 「ソ連末期における物価統計」鶴田満彦編『現代経済システムの位相と展開』大月書店 1994

佐藤 博 サトウ ヒロシ

- (訳) 「真の貨幣は真の商品でなければならないか?」『専修 経済学論集』専修大学 28-3 (通巻57号)  
1994

佐野 一雄 サノ カズオ

- 「蜷川統計学における集団性概念の再考察」『統計学』経済統計学会 54号, 1988  
「集団性分析論序説-線形変換の固有値と集団性概念」『大阪市大論集』大阪市立大学大学院 57  
号, 1989  
「主成分による集団性分析の方法-『家計調査年報』を利用して」『経営研究』大阪市立大学  
40-4, 1989  
「主成分時系列による集団性分析の方法-再び『家計調査年報』を利用して」『経営研究』大阪市  
立大学 41-4, 1990  
「社会統計学と歴史主義 K. R. Popper による批判の検討」『統計学』経済統計学会 61号, 1991  
「感度分析の応用可能性について」『福井県立大学論集』福井県立大学 2号, 1993

## 【シ】

新熊 邦男 シンクマ クニオ

- 「人口、労働、産業による東京都と大阪府及び特別区部と大阪市の比較分析」『阪南論集社会科学  
編』阪南大学 28-2, 1992

## 【ス】

杉森 滉一 スギモリ コウイチ

- 「地位分類、地位、階級(上)」『岡山大学経済学会雑誌』岡山大学 21-2, 1989  
「地位分類、地位、階級(下)」『岡山大学経済学会雑誌』岡山大学 21-3, 1989  
「フランスの人口分類における「技師」」『岡山大学経済学会雑誌』岡山大学 19-3・4, 1988  
『人口分類と階級分析』(岡山大学経済学研究叢書 第12冊)御茶の水書房 1991

## 【セ】

関 弥三郎 セキ ヤサブロウ

- 「増加率の逐次寄与度分解法-失業率の差の寄与度分解を例として-」『立命館経済学』立命館大  
学 37-2, 1988  
「ジニ係数の差の寄与度分解」『京都学園大学法学』京都学園大学 1990年2・3号, 1991  
「平均寿命の延びの寄与度分解」『京都学園大学法学』京都学園大学 1991年2号, 1991

『寄与度・寄与率－増加率の寄与度分解法』産業統計研究社 1992  
「消費支出の増加率の寄与度分解」『京都学園大学経営学部論集』京都学園大学 3-1, 1993

関根 猪一郎 セキネ イイチロウ

「国債整理基金特別会計法の改正と短期国債の発行（上）」『高知短期大学研究報告社会科学論集』高知短期大学 55号, 1988  
「社会主義と『資本論』一二つの社会主義論の批判的検討一」『高知短期大学研究報告社会科学論集』高知短期大学 62号, 1992  
「<経済学オリエンテーション>現代の課題と経済学」『高知短期大学研究報告社会科学論集』高知短期大学 63号, 1992

【夕】

高岡 周夫 タカオカ ツナオ

「『社会的集団』と『社会現象』」覚書『北海学園大学 経済論集』北海学園大学 41-1  
1993

高橋 正雄 タカハシ マサオ

「『サムエルソン経済学』の研究(1)」『東北学院大学論集』東北学院大学 105, 1987  
「『サムエルソン経済学』の研究(2)」『東北学院大学論集』東北学院大学 106, 1987  
「『サムエルソン経済学』の研究(3)」『東北学院大学論集』東北学院大学 107, 1988  
「『サムエルソン経済学』の研究(4)」『東北学院大学論集』東北学院大学 108, 1988  
「『サムエルソン経済学』の研究(5)」『東北学院大学論集』東北学院大学 109, 1988  
「『サムエルソン経済学』の研究(6)」『東北学院大学論集』東北学院大学 111, 1989  
「『サムエルソン経済学』の研究(7)」『東北学院大学論集』東北学院大学 113, 1990  
「『サムエルソン経済学』の研究(8)」『東北学院大学論集』東北学院大学 114, 1990  
「『サムエルソン経済学』の研究(9)」『東北学院大学論集』東北学院大学 116, 1991  
「『サムエルソン経済学』の研究(10)」『東北学院大学論集』東北学院大学 117, 1991  
「『サムエルソン経済学』の研究(11)」『東北学院大学論集』東北学院大学 118, 1991

高山 朋子 タカヤマ トモコ

「企業会計の計算構造と自己資本の意義」『東京経大会誌』東京経済大学 NO. 173, 1991  
「公的非営利団体の会計についての一研究」『東京経大会誌』東京経済大学 NO. 182, 1993

高山 洋一 タカヤマ ヨウイチ

「手形交換所と中央銀行－Fedの成立と関連して－」『経済論集』大東文化大学 48号, 1989  
「金井雄一著『イングランド銀行金融政策の形成』によせて」『経済論集』大東文化大学 52号,  
1991  
「『貨幣資本と現実資本』の課題－山本孝則著『現代信用論の基本問題』によせて－」『経済論集』大東文化大学 54号, 1992

(研究グループ活動報告)「上海国際シンポジウム代表団報告」『大東文化大学経済研究所報』大東文化大学 8号, 1994

田口 時夫 タグチ トキオ

- 「集中多様体と集中解析のシステム(1) - ジーニ統計方法論の幾何学的展開 -」『統計数理研究所彙報』統計数理研究所 36-1, 1988
- 「集中多様体と集中解析のシステム(2) - 相対的ベクトル積率と非線形集中統計量 -」『統計数理研究所彙報』統計数理研究所 36-2, 1988
- "On the structure of multi variate concentration -Some relationships among the concentration surface and two variate mean difference and regression", *Computational Science & Data Analysis* Vol.6 No.4, North Holland, 1988
- (共)「統計環境に関する住民意識」『統計数理研究所共同研究レポート』統計数理研究所 13, 14, 15 1988, 1989
- "A characterization of Gini's statistics: on a system of vector analysis of distribution", *Metron*, Vol. XLIX No. 1-4, Rome University, La Sapienza, 1991
- "A concentration analysis of income distribution model and consumption pattern - Introduction of logarithmic gamma distribution and statistical analysis of Engel elasticity", *Statistica*, Vol. L. III, No. 1 Bologna University, 1993
- 「ジーニ統計学の数学的性質」『統計学』経済統計学会 65号, 1993
- 「多次元集中解析法 - 集中曲線・曲面による統計記述システム -」『統計数理』統計数理研究所 42-1, 1994

竹内 清 タケウチ キヨシ

- 「マーケティングと品質問題をめぐって」『石巻専修大学経営学研究』石巻専修大学 2-2, 1991
- 「ロシアにおける家計調査についての一考察」『石巻専修大学経営学研究』石巻専修大学 6-2, 1995
- 『世界市場と信用』(共著) 梓出版社 1988
- 「第1次大戦前ドイツの通貨と金融」酒井一夫・西村閑也『比較金融史研究 - 英・米・独・仏の通貨金融構造 -』ミネルヴァ書房 1992
- 「ドイツ発券制度史序説」『法経研究』静岡大学 41-1, 1992
- 「ドイツ大銀行と手形取引」『法経研究』静岡大学 40-2, 1991
- 「ベルリン割引市場」『金融経済研究』創刊号 金融学会 1991
- 「国際金本位制とドイツ型金融構造をめぐる諸問題」『金融学会報告』66号 金融学会 1988
- 「国際金本位制期のドイツ兼営銀行と金融市場」『信用理論研究』信用理論研究学会 4, 1987

田中 章義 タナカ アキヨシ

- 「日本における会計学的方法的特徴 - 1930年代から1945年まで -」『東京経済大学会誌』東京経済大学 169号, 1991

田中 尚美 タナカ ナオミ

- 「統計における〈世帯主〉の概念」『統計学』経済統計学会 58号, 1990
- (訳) 「性的ステレオタイプ、性的偏りおよび国家データシステム」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 34号, 1991
- 「国連における女性に関する統計のための諸活動」伊藤陽一編著『女性と統計-ジェンダー統計論序説』梓出版社, 1994
- 「世帯統計と世帯主」伊藤陽一編著『女性と統計-ジェンダー統計論序説』梓出版社, 1994
- 「ジェンダー統計からみた世帯統計の問題点」『統計』日本統計協会 45-5, 1994

玉木 義男 タマキ ヨシオ

「生計費指数について—その特質と問題点を中心に—」『経済学年報』新潟大学 11号, 1987

【ツ】

堤 光臣 ツツミ ミツオミ

- 「統計教育、アクション・リサーチ、統計的方法Ⅱ」『日本大学経済学紀要』日本大学 1986
- 「試行系列」『日本大学経済学紀要』日本大学 1988
- 「管理統計」について」日本大学経済学研究会編『経済理論の現代的課題』所収 日本大学 1989

津波古 充文 ツハコ ミツフミ

- 「利他心と利己心について—ヴェーバー, スミス, マルクス—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 73, 1989
- 「『国民経済』概念についての一考察—大塚久雄氏, ローザの所説の吟味—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 79, 1990
- (紹介) 「16世紀と17世紀初期アイルランドにおける土地と領主権」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 81, 1991
- (文献) 「『現代沖縄経済論』—杉野國明・岩田勝雄編—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 83, 1991
- (訳) R. A. ドッジション「西部高地地方の首長職、1500～1745年再分配的取引の一研究」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 83, 1991
- (訳) レイモンド・ギリスピー「アイルランドとスコットランドにおける土地社会と空白期間」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 86, 1991
- (訳) デーヴィッド・スティーンソン「革命とスコットランド征服の帰結」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 87, 1992
- (訳) アラン I. マッキネス「内乱の衝撃と空白期間—スコットランドのゲール領地における政治的崩壊と社会的変化—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 88, 1992
- (訳) K. A. ホワイト, I. D. ホワイト「17世紀スコットランド農村共同体における負債と信用、貧困と繁栄」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 89, 1992
- 「利己心と利他心の吟味—河上肇、上田辰之助の所説を中心に—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 92, 1993
- (訳) ピーター・ローバック「裕福な地主の経済的な位置と機能、1600—1815 アルスターと低地スコットランド」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 94, 1994
- 「国民経済—アイルランドとスコットランドの場合—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業

- 大学 98, 1995  
「利己心と利他心—ハチスンのマンデヴィル批判—」『大阪産業大学論集社会科学編』大阪産業大学 98, 1995

鶴田 善彦 ツルタ ヨシヒコ

- 「県民経済計算体系の現状と課題に関する一試論—県民経済計算にみる福岡県経済構造の特性—」  
『創立四十周年記念論文集』久留米大学  
「久留米都市圏における人口動向の特徴」『産業経済研究』久留米大学産業経済研究会 29-1,  
1988  
(共)『地域経済分析の一視点—筑後川流域圏をモデルとして—』久留米大学商学部付属産業経済研究所  
紀要 19集, 1990  
「地方中核都市におけるサービス業の展開と課題—筑後川流域圏における中心都市のサービス機能  
の実態—」久留米大学商学部付属産業経済研究所編『筑後川流域圏の経済と社会』久留  
米大学商学部産業経済研究所プロジェクト研究 久留米大学商学部付属産業経済研究所紀  
要 21集, 1993  
「日本経済の発展過程とそれぞれの課題」『産業経済研究』久留米大学産業経済研究会 33-3,  
1992

【ト】

土居 英二 ドイ エイジ

- 「静岡県経済の構造と為替レート、原油価格の動向」『先端技術産業と地域開発』所収 御茶の水  
書房 1988  
「外国為替レート・原油価格の変化が静岡県経済に及ぼす影響—静大・静岡県計量経済モデルを通じ  
て」『法経研究』静岡大学 36-3, 1988  
「日本経済の政策課題と国民所得バランス」『法経研究』静岡大学 36-4, 1988  
「新型間接税の産業界への影響の計量分析について」『租税研究』465号, 1988  
(共)「税制改革で年収 700万円未満は増税に」『エコノミスト』2788号, 1988  
「付加価値税導入と産業界、家計、財政への影響の推計—産業連関分析を通じて—」『法経研究』静岡  
大学 37-1, 1988  
「シミュレーションの全体像」『シミュレーション税制改革』青木書店 1988  
「大学の地域経済効果の計測」『法経研究』静岡大学 39-3, 1990  
「消費税と企業・家計部門への影響の検証—見直し論ケースのシミュレーション分析」『消費税の  
研究』青木書店 1990  
「海外進出企業に関する既存の統計データ」『平成2年度科学研究費成果報告書・企業情報データ  
ベースによる日本経済のグローバル化の実態把握に関する研究(近昭夫代表)』1991  
「土地価格の地域差が物価の地域差に及ぼす影響」『平成2年度科学研究費成果報告書・土地基本  
法体制と地方中核都市の土地・都市・住宅政策の実証的研究(田中克志代表)』1992  
『政策科学と数量分析』御茶の水書房 1992  
「経済のサービス化と産業連関表」『構造転換期の地域経済と国際化』御茶の水書房 1992  
(共)『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992  
「イギリス進出日系企業に関する統計と企業情報データベース」『平成2・3・4年度科学研究費成果  
報告書・企業情報データベースによる日本経済のグローバル化の実態把握に関する研究  
(近昭夫代表)』1993  
「地方都市の物価構造と消費者行政」『地方中核都市の街づくりと政策』信山社 1994

『円高にともなう輸入品の価格動向調査結果、輸入品に関する消費者意識調査結果報告書』静岡県環境・文化部消費生活課 1994

『静岡の物価高に関する要因分析調査結果報告書』静岡大学人文学部経済統計学研究室 1994

徳島 達朗 トクシマ タツロウ

「宮城県公設市場の開設（大正8年）と反響」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 25-3・4, 1992

「イギリス百貨店成立前史研究の動向」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 26-4, 1993

（資料）「勸工場設立年史－附 宮城勸工場規則－」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 27-1, 1993

『市場流通史研究』長崎県立大学研究叢書1 長崎県立大学 1993

（資料）「18世紀ロンドン承認の勘定書」『長崎県立大学論集』長崎県立大学 27-2・3, 1994

戸塚 茂雄 トツカ シゲオ

「ベーロの統合統計論」『研究紀要』青森大学・青森短期大学 12-2, 1989

「ヴァーゲンフェールの経済統計論」『青森大学創立20周年記念論文集』青森大学・青森短期大学 1990

友野 哲彦 トモノ アキヒコ

「環境と経済のトレードオフの計測」『星陵台論集』神戸商科大学大学院研究会 26-1, 1993

「環境制約下における経済成長の動学的実証分析」『星陵台論集』神戸商科大学大学院研究会 26-3, 1994

豊田 尚 トヨダ ヒサシ

「家計の資産形成」『経済学論纂』中央大学経済学研究会 30-1・2, 1989

「わが国家計調査の源流」江口英一編『日本社会調査の水脈』法律文化社 1990

## 【ナ】

永井 博 ナガイ ヒロシ

『経済・経営のための基礎統計学』梓出版社 1989

「現代統計制度の一動向－イギリス統計改革の最近の動向－」『現代統計学の諸問題』産業統計研究社 1990

「指数概念と指数算式－J. C カジネットの指数論を中心に」『熊本商大論集』熊本商科大学 36-3, 1990

（共訳）M. G. ゴッドフリー、E. M. ローバック、A. J. シャーロック 永田達郎・永井博『コンサイス統計学』梓出版社

「指数概念とテスト理論－J. C カジネットのテスト理論批判を中心に」『熊本商科大学・熊本学園創立50周年記念論集 経済学部編』1991

「指数算式とウェイト」『熊本商大論集』熊本商科大学 39-2, 1993

「指数算式と経済体制」『熊本商大論集』熊本商科大学 40-3, 1994

中江 幸雄 ナカエ ユキオ

「ソビエト経済計画・管理の情報システム化－80年代の動向－」『立教経済学研究』立教大学 42-1, 1988

「91年ソ連経済体制の破産－ロシア主導の再編と西側・G7の対応－」『立教経済学研究』立教大学 45-4, 1992

中小路 純 ナカコウジ ジュン

「明治12年の山梨県の労働力構成の地域的特質－『甲斐国現在人別調』による基礎的検討－」『統計学』経済統計学会 65号, 1993

長澤 克重 ナガサワ カツシゲ

「情報経済論の検討（共著）『情報科学研究』阪南大学情報処理研究センター 2号, 1988

「ターンパイクモデルの初期調整プロセス」『経済論叢』京都大学 142-2・3, 1988

「因子分析による投入産出構造変動の分析－昭和45-50-55年接続産業連関表による」『統計学』経済統計学会 55号, 1988

「ソフト化・サービス化経済の産業連関分析」『立命館社会論集』立命館大学 26-1, 1990

「急増する日本の海外直接投資」野澤正徳・木下滋・大西弘編『自立と協同の経済システム』所収 大月書店 1991

「大学生の生活・勉学の実態－立命館大学教学部アンケート調査の分析」『立命館教育科学研究』立命館教育科学研究所 2号, 1992

(共)『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992

「投下労働計算からみた経済のソフト化－直接投下労働の職業別分割による試算」『立命館産業社会論集』立命館大学 28-3, 1992

(共)『現代青年・学生の意識構造に関する総合的研究』立命館教育科学研究所 1993

中西 貢 ナカニシ ミツグ

「消費税導入と均衡化価格モデル」『社会科学論集』埼玉大学 68号, 1989

「消費税と産業連関表体系－E S Aとの比較－」『社会科学論集』埼玉大学 69号, 1989

「商品技術仮定による投入係数の統計的推計方法」『社会科学論集』埼玉大学 76・77号, 1992

「産業連関表のブロック化と部門統合誤差」『社会科学論集』埼玉大学 80号, 1993

中野 裕治 ナカノ ユウジ

「有限時系列のエントロピーについて」『彦根論叢』滋賀大学 260・261号, 1989

中村 浩 ナカムラ ヒロシ

- 「M.P.Sの改訂について」『経済論集』大東文化大学 46号, 1988  
「国民経済計算における政府サービスの取り扱いについて(1)」『経済論集』大東文化大学 49号, 1989  
「国民経済計算における政府サービスの取り扱いについて(2)」『経済論集』大東文化大学 52号, 1991  
「国民経済計算における政府サービスの取り扱いについて(3)」『経済論集』大東文化大学 53号, 1991  
「国民経済計算における政府サービスの取り扱いについて(4)」『経済論集』大東文化大学 56号, 1992  
「国民経済計算における政府サービスの取り扱いについて(5)」『経済論集』大東文化大学 58号, 1993

長屋 政勝 ナガヤ マサカツ

- 「フランクフルト学派統計学と統計的因果研究」『経済論集』北海学園大学 36-3, 1989  
「統計的集団と同種性」『経済論叢』京都大学 143-6, 1989  
「同種性と本質同等待性」『経済論叢』京都大学 144-2, 1989  
「同種性と構造同等待性」『経済論叢』京都大学 145-1・2, 1990  
「テイッシャーの統計理論再考」『人文』京都大学 37集, 1991  
「社会統計学の『外敵』と『内敵』(1)」『経済論叢』京都大学 147-4・5・6, 1991  
「社会統計学の『外敵』と『内敵』(2)」『経済論叢』京都大学 148-1・2・3, 1991  
(共訳) L. クリュエーガー他編著『確率革命—社会認識と確率』梓出版社 1991  
『ドイツ社会統計方法論史研究』梓出版社 1992  
「社会統計的認識の胎動」『経済論叢』京都大学 151-1・2・3, 1993

成島 辰巳 ナルシマ タツミ

- 「G. v. マイヤーの平均論」『大阪学院大学経済論集』3-2, 1989  
『情報化時代の統計学(上・下)』法政出版 1992, 1994  
「ケトレーの統計的規則性と平均」『大阪学院大学経済論集』8-1, 1994

## 【二】

西村 善博 ニシムラ ヨシヒロ

- (共) 「経済・経営のためのSAS利用について」『大分大学経済研究所研究所報』大分大学 22号, 1988  
「わが国における地域将来人口推計の現状と課題—その推計主体別分析について」大屋祐雪編『現代統計学の諸問題』所収 産業統計研究社 1990  
「調査分析と統計利用—大分県地熱賦存地域振興計画策定調査を例に」『大分大学経済論集』大分大学 42-5, 1991  
「県計画における将来人口推計と人口フレームの作成—大分県の新総合開発計画」『大分大学経済研究所研究所報』大分大学 26号, 1992  
「都市・農村人口の将来推計に関する国連の方法論—マニュアルⅧを中心に」『大分大学経済論集』



大分大学 45-2・3, 1993  
「大分県の出生力に関する低下の背景と動向」『大分大学経済論集』大分大学 46-1・2, 1994

【ノ】

野田 知彦 ノダ トモヒコ

「パネルデータによる効率賃金仮説の検討」『経済論叢』京都大学 147-1・2・3号, 1991  
「効率賃金仮説の検討」『京都大学経済論集』京都大学大学院経済学研究科 3号, 1991

野村 良樹 ノムラ ヨシキ

「SNA/MPSの原型-ソ連中央統計局国民経済バランス部の図式：1928」『経営研究』大阪市立大学 39-1, 1988  
「国民経済計算体系の端緒形態としてのペトロフ・バランス（1932年）：第I部 国民経済物財需給バランス」『経営研究』大阪市立大学 41-1・2, 1990  
「ソ連のGNP指標の特質について」『国民経済雑誌』神戸大学 162-5, 1990  
「国民経済計算体系の端緒形態としてのペトロフ・バランス（1932年）：第I部 国民経済物財需給バランス；第II部 国民所得循環バランス」小西康生編著『国際比較統計研究モノグラフ2』所収 神戸大学経済経営研究所 1993

【ハ】

芳賀 寛 ハガ ヒロシ

「投入係数と生産波及効果の数量的関係について」『経済学年誌』法政大学大学院経済学会 25号, 1988  
「所得分布不均等尺度の現代的形態-アトキンソン尺度について-」『統計学』経済統計学会 56号, 1989  
「線形計画法」近・木村・森編『演習統計』産業統計研究社 1989  
(共訳)「労働争議」R. ビーン編・法政大学日本統計研究所訳『国際労働統計』梓出版社 1990  
「『国民生活白書』における生活分析-所得・資産格差をめぐる統計利用にかかわって-」『旭川大学紀要』 33号, 1991  
「産業連関表に基づく剰余価値率の推計方法」『経済論集』北海学園大学 41-3, 1993  
『経済分析と統計利用』梓出版社 1994

橋本 勝 ハシモト マサル

「日米貿易の統計的ギャップについて」『統計学』経済統計学会 55号, 1988  
「通関業と貿易統計」『統計学』経済統計学会 56号, 1989  
(共)『はん習統計学』梓出版社 1990  
「統計と情報-外国為替相場の情報的特質を手がかりに」『統計学』経済統計学会 59号, 1990  
「統計情報としての外国為替相場」『統計』日本統計協会 11月号, 1990  
「教育学部における経済学教育の特質に関する一考察」『岡山大学経済学会雑誌』岡山大学 25-

濱砂 敬郎 ハマスナ ケイロウ

- "Aktuelle Querschnitt durch die Erhebungsbedingungen der Westdeutschen Regierungsstatistik [1]" 『経済学研究』九州大学 52-1・2・3・4, 1987
- 「計画情報としての経済予測」矢田俊文・徳永正二郎編『ソフト経済の研究』九州大学出版会 1987
- 「西ドイツにおける現代経済予測論の一断面-T. ファユナの景気予測論と構造予測論-(1)」『経済学研究』九州大学 53-1・2, 1987
- 「西ドイツにおける現代経済予測論の一断面-T. ファユナの景気予測論と構造予測論-(完)」『経済学研究』九州大学 53-4・5, 1988
- (翻訳資料) 「西ドイツの1983年国勢調査にかんするグローマンレポート(於:東京'87年9月)」『経済学研究』九州大学 53-6, 1988
- (翻訳) 「H. グローマン:社会科学の統計学におけるフランクフルト学派の発展と科学的な指向」『統計学』経済統計学会 54号, 1988
- 「統計利用論の分析視角をめぐって」『経済学研究』九州大学 54-1・2, 1988
- 「統計体系論ノート」『経済学研究』九州大学 54-4・5, 1988
- 「西ドイツの統計改革-1987年国勢調査法の成立と意義-」津守常弘・原田溥編『現代西ドイツの企業経営と公共政策』九州大学出版会 1989
- "Das Gesamtsystem der statistischen Erhebungen in Japan" 『経済学研究』九州大学 55巻 1・2号, 1989
- 「統計環境と統計体系にかんする覚え書き」『九州経済学会年報』1989
- 「統計法の新しい形態-西ドイツの1987年連邦統計法-」『研究所報』法政大学日本統計研究所 16, 1989
- 「統計利用論の基本視角」大屋祐雪編『現代統計学の諸問題』産業統計研究社 1990
- 『統計調査環境の実証的研究-日独比較分析』産業統計研究社 1990
- 「現代国家における統計体系の若干の問題点-付・日独比較試論-」津守常弘編『現代社会と経営・経済指標』海鳥社 1990
- 「宏視経済計画の予測方法及其機能」『経済理論と経済管理』(中国人民大学主編)6期, 1990
- 「統計環境論の分析視角-統計調査とプライバシー問題-」『経済学研究』九州大学 55-4・5, 1990
- 「わが国における統計環境政策の若干の問題点」『経済学研究』九州大学 56-1・2, 1991
- 「中国の統計報告制度の現状と課題」九州大学中国経済研究会編『中国の経済制度と統計制度・会計制度』九州大学出版会 1991
- 「中国の統計報告制度にかんする調査分析」『経済学研究』九州大学 56-5・6, 1991
- (共編著) 『経済データベースと経済データ・モデルの分析』九州大学出版会 1992
- 「産業連関表のデータ構造の分析」同上所収 1992
- 「中国における統計報告制度の若干の問題点」西村明・張以寛編『日中共同シンポジウム日中会計・統計制度の比較』九州大学出版会 1992
- 「中国の統計計算制度にかんする調査分析」『経済学研究』九州大学 57-3・4, 1992
- 「産業連関表の投入産出関係について(1)」『経済学研究』九州大学 57-5・6, 1992
- 「ドイツ経済構造報告における産業連関分析」九州大学ドイツ経済研究会編『統合ドイツの経済的諸問題』九州大学出版会 1993
- (翻訳) 「K. フェルダウ:統合ドイツにおける連邦統計の課題-ヨーロッパ統計の一部として-」同上 1993
- (翻訳) 「K. ハナウ:統合ドイツにおける経済統計-統一か、二分割か、それとも細分割か-」同上 1993

- (翻訳) 「K. コッケル:旧ドイツ民主共和国における政府統計の若干の問題点」 同上 1993  
「ドイツ産業連関分析の新局面」 『経済学研究』九州大学 58-4・5, 1993  
(共編著) 『現代経済学の革新と展望』九州大学出版会 1994  
「産業連関分析におけるドイツ的パラダイムの転換」 同上 1994  
(翻訳資料) 「1987年国勢調査の経験レポート(ドイツ)」総務庁統計調査局委託調査 1994

原田 明信 ハラダ アキノブ

- 「独立な確率変数の和の特性関数の正規近似」 『専修大学北海道短期大学紀要／社会・人文科学編』  
専修大学北海道短期大学 21号, 1988  
「VINCE型整関数の絶対収束に関する確率論的証明」 『専修大学北海道短期大学紀要／社  
会・人文科学編』 専修大学北海道短期大学 21号, 1988  
「ケインズにとっての"probability"概念とフィッシャー」 『経済と経営』 札幌大学 20-1, 1989  
「非合理的意思決定とパロドックスの確率—二者択一投票モデルによる特定化—」 『専修大学環  
境科学研究所報告』 専修大学 1号, 1989  
「ケインズ『蓋然性論』における実践倫理と彼の企業家像」 『統計学』 経済統計学会 60号, 1991  
(共) 「ケインズの統計思想・序論—『蓋然性論』における統計的帰納論に関する一考察—」 『伊達邦  
春教授古希記念論文集』 八千代出版社 1992  
「統計・情報関連科目間の有機的関連について」 『経済学教育』 経済学教育学会 12号, 1993  
「J. M. ケインズの『統計的帰納論』とベイズ推論」 『統計学』 経済統計学会 66号, 1994

【ヒ】

平野 孝幸 ヒラノ タカユキ

- 「第一次世界大戦後におけるアメリカ労働運動と労務管理の発展(1)」 『金沢経済大学論集』 金沢  
経済大学 24-1, 1990  
「第一次世界大戦後におけるアメリカ労働運動と労務管理の発展(2)」 『金沢経済大学論集』 金沢  
経済大学 24-2, 1990  
「1912年におけるアメリカ管理理論についての一考察」 『金沢経済大学論集』 金沢経済大学 25-3,  
1992

広岡 憲三 ヒロオカ ケンゾウ

- 「ビクトリア朝統計改革とウリアム・ファー—戸籍本署における活動を中心として—」 『経済論集』  
北海学園大学 41-4, 1994

廣嶋 清志 ヒロシマ キヨシ

- (共) 『昭和61年度 地域人口の移動歴と移動理由に関する人口学的調査』 厚生省人口問題研究所 1988  
「結婚後の競合を考慮した親子同居可能率のモデル」 『人口問題研究』 厚生省人口問題研究所  
186号, 1988  
「東京の人口再生産」 米田佐代子編『巨大都市東京都家族』 有信堂 1988  
(共) 「地域人口の移動歴と移動理由に関する人口学的調査の結果概要」 『人口問題研究』 厚生省人口問

題研究所 188号, 1988

- 「保育需要の量的研究」『保育の研究』保育問題研究所 8号, 1988
- "Does Very Low Fertility Accelerate Nuclearization?: Kin Availability of Low Fertility Societies", Seminar on Theories of Family Change, International Union for the Scientific Study of Population--National Institute for Research Advancement, November 29-December 2, 1988, Tokyo.
- 「低出生力化は核家族化を促進するか?」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 189号, 1989
- 「親子の居住関係と移動: 第2回全国人口移動調査の結果から」『1989年度大会(九州) 学術講演梗概集 F』日本建築学会 1989
- 「世帯類型別世帯数と親子同居率の将来推計について」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 46-1, 1990
- (共) 「日本の婚姻率: 1980~87年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 46-1, 1990
- 「親子の居住関係と出生地域からの移動: 第2回全国人口移動調査結果(その2)」『1990年度大会(中国) 学術講演梗概集F』日本建築学会 1990
- 「子からみた親子の居住関係と移動」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 46-3, 1990
- (共) 「日本の離婚率: 1980~1988年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 46-3, 1990
- 「世帯の将来推計」山口喜一編『人口推計入門』古今書院 1990
- 「親との居住関係の新しい傾向 第2回全国人口移動調査結果(その3)」『1990年度大会(東北) 学術講演梗概集』日本建築学会 1991
- 「近年における親との同居と結婚」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 47-3, 1991
- 「統計からみた国際結婚の動向」『自治体国際化フォーラム』自治体国際化協会 26号, 1991
- (共) 「日本の婚姻動向: 1990年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 47-4, 1992
- 「日本における出生率低下」『公衆衛生』医学書院 56-1, 1992
- (共) 「日本の離婚動向: 1989, 1990年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 48-1, 1992
- (共) 「日本の出生動向: 1990年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 48-1, 1992
- 「人口動向からみた家族と住宅」『住宅』日本住宅協会 41-7, 1992
- 「結婚開始時における親との同居と住宅条件の影響」『1992年度大会(東海) 学術講演梗概集』日本建築学会 1992
- "The Living Arrangements and Familial Contracts of the Elderly in Japan", P. Krishnan and K. Mahadevan (ed.) *The Elderly Population in Developed and Developing World: Policies, Problems and Perspectives*. B.R. Publishing Corporation, Delhi, 1992.
- "Recent Changes in Gender Roles and Multigenerational Living Arrangements in Japan, Working Paper Series, Institute of Population Problems, Ministry of Health and Welfare, February, 1993.
- (共) 「日本の婚姻・離婚の動向: 1991年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 48-4, 1993
- (共) 「日本の出生動向: 1991年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 48-4, 1993
- (共) 「日本の世帯数の将来推計-1993年10月推計」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 49-3, 1993
- 「若年有配偶男子の世帯形成動向: 過去と将来」『人口学研究』日本人口学会 16号, 1993
- 「近年の世帯動向の分析: 高齢単独世帯を中心として」『大阪府の人口動向: 解説編』大阪府企画調整部 1993
- 「近年の地域人口変動と人口移動統計の課題」『研究所報』法政大学日本統計研究所 19号, 1993
- 「人口構成の編かどと日本社会のゆくえ」大森弥編『人口動態と行政サービス』所収 ぎょうせい 1993
- (共) 「都道府県別将来人口推計における社会増加と自然増加: 1990~2010年」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 49-4, 1994
- 「日本の死亡率」小林和正・大淵寛編『生存と死亡の人口学』所収 大明堂 1994
- 「日本の世帯の過去と将来: 新世帯推計をめぐって」『厚生指標』厚生統計協会 41-2, 1994
- 「人口分布と人口移動」『アジアからの挑戦-人口と開発』アジア人口・開発協会 1944

"Population Distribution and Migration", Challenge and Strategy of Asia Nations:  
Population and Sustainable Development, The Asian Population and Development  
Association, March, 1994.

「住宅状況が女性の結婚年齢に及ぼす影響」『1994年度大会（東海）学術講演梗概集』日本建築学  
会 1994

「世界の人口問題」『教育』1994

「大都市地域の住宅事情が出生率に及ぼす影響：東京都区市1985年、1990年の観察」『都市住宅』  
1994

「個人単位の世帯統計と家族」『統計』日本統計協会 11, 1994

(共) 「高齢者の世帯状況の将来推計」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 50-2, 1994

「世帯変動の調査方法」『人口問題研究』厚生省人口問題研究所 50-3, 1994

広田 純 ヒロタ ジュン

「鉄道統計の時系列解析－スト権ストの損害額算定問題」『北海学園大学・経済論集』36-3, 1989

「太平洋戦争におけるわが国の戦争被害－戦争被害調査の戦後史」『立教大学経済学研究』立教大  
学 45-4, 1992

「消費者物価地域差指数の算式について－川副延生会員の〈試算〉へのコメント」『統計学』経済  
統計学会 63号, 1992

「ダブル・デフレーションの落とし穴－〈長期遡及推計〉の提起した問題」『統計学』経済統計学  
会 67号, 1994

【フ】

福島 利夫 フクシマ トシオ

(資料) 「エンゲル『ベルギー労働者家族の生活費』」大阪経済法科大学経済研究所編『経済学名著 106  
選』青木書店 1989

(訳) 「P. プライトン『労働時間』」R. ビーン編・法政大学日本統計研究所訳『国際労働統計』梓出版社  
1990

「生活と福祉の統計」岩井・泉・良永編『情報化社会の統計学』ミネルヴァ書房 1992

(共) 『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992

「労働時間の国際比較と労働時間統計」創立20周年記念論文集発刊部会編『世界経済と日本経済』  
大阪経済法科大学出版部 1992

(共編) 『労働統計の国際比較』梓出版社 1993

「日本の労働時間の推計」『統計学』経済統計学会 66号, 1994

藤井 輝明 フジイ テルアキ

「日本の製造業における集積利益の計測」『経済論叢』京都大学 139-6, 1987

「逐次追加比例配分法の疑似統計的性質」『統計学』経済統計学会 57号, 1990

「地域経済問題における集積利益と企業立地の役割についての一考察」『松山大学論集』松山大学  
2-1, 1990

「逐次追加比例配分法の数値計算」『松山大学論集』松山大学 2-3, 1990

「計量経済学における偶然性の位置をめぐる試論」『現代社会の諸問題と提言』松山大学 1990

- 「最近の長期金利変動の特徴と金利裁定」『松山大学論集』松山大学 3-3, 1991  
「ドント法の実質的意味について」『季刊経済研究』大阪市立大学 16-4, 1994

藤江 昌嗣 フジエ マサツグ

- 「統計単位概念とその構造について」『統計学』経済統計学会 58号, 1990  
(共)『はん習統計学』梓出版社 1990  
「国際標準産業分類第3次改訂 (ISIC. Rev. 31) について」『統計学』経済統計学会 59号, 1990  
「社会資本の充実と貯蓄」貯蓄経済研究センター『国際化時代の貯蓄と日本経済』所収 1991  
『移転価格税制と地方税還付』中央経済社 1993  
「住宅と居住環境」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』所収 梓出版社 1993  
『電卓とパソコンで学ぶ統計学』有斐閣 1994

藤岡 光夫 フジオカ ミツオ

- 「階層別人口の年齢構造およびコーホート変動分析の方法」『旭川大学地域研究所年報』旭川大学  
地域研究所 10号, 1988  
「性・年齢別にみた地域階層変動の統計指標」岩井浩編『労働力・階級構成と雇用構造－低成長下  
における労働者状態の統計指標』関西大学経済・政治研究所 1988  
「中国の統計事情－『統計法』、『統計法実施細則』の制定－」『統計学』経済統計学会 55号,  
1988  
「統計的乳児死亡研究における $\alpha$ インデックスの利用－その現代的意義と方法」『旭川大学紀要』  
旭川大学 27号, 1988  
「経済の構造変化と階層変動－生産的労働者層の構造変化をめぐって」『北海学園大学経済論集』  
北海学園大学 36-3, 1989  
「階層変動・人口移動と移動統計」『統計学』経済統計学会 57号, 1989  
「道内諸地域の性・年齢別階層変動表および階層別コーホート変動表－外部依存型および内発型地  
域経済と人口・階層変動－」『旭川大学紀要』旭川大学 28号, 1989  
「人口の将来推計と人口シミュレーション－道北地域の人口動向と今後の展望－」『地域と住民』  
名寄短期大学道北地域研究所 8号, 1990  
「産業・職業からみた階層変動と階層間人口移動」『経済科学論集』島根大学 16号, 1990  
「江川流域における過疎化・高齢化－人口統計からみた実態と将来推計」『島根大学山陰地域研究  
センター平成2年度特定研究成果報告書』 1991  
「地域課題と調査運動」『社会科学研究』社会医学研究会 10号, 1991  
「一極集中下での人口移動と統計整備の急務」『統計』日本統計協会 9, 1991  
「『過労死』と労働災害・職業病統計」『経済科学論集』島根大学 17号, 1991  
「過疎と過密の日本列島」東井正美編『日本経済へのアプローチ』ミネルヴァ書房 1992  
「石見部における過疎化・高齢化と定住問題への課題」『自治研島根』281号, 1992  
「島根県における広域圏別将来人口推計の試算－現状維持型、減少加速型、減少歯止め型－」『経  
済科学論集』島根大学 18号, 1992  
「統計データ論」岩井浩他編『情報化社会の統計学－パソコンによるアプローチ－』ミネルヴァ書  
房 1992  
「過疎地域における人口流出の要因と流出構造－統計的研究と事例研究－」『経済科学論集』島  
根大学 19号, 1993  
「地方農村圏における人口流出の経済的規定要因」『研究所報』法政大学日本統計研究所 19号,  
1993

- 「生活の豊かさ実現への課題－地方からの視点－」『統計』日本統計協会 1, 1993
- 「過疎地域における過疎化・高齢化の統計的研究」『過疎地域における高齢化等の現状と課題に関する調査研究報告書』総務庁長官官房企画課 1993
- 「労働災害・職業病・健康」伊藤陽一・岩井浩・福島利夫編『労働統計の国際比較』梓出版社 1993
- (共)「分析手法としてのパターン研究法」大阪問題研究班『現代労働力の雇用構造・階層構造の統計的研究』関西大学経済・政治研究所 1993
- 「性別・年齢別、産業・職業別就業者の構成、変化、移動」大阪問題研究班『現代労働力の雇用構造・階層構造の統計的研究』 1993
- 「大阪圏における産業・職業別階層変動の特徴－都道府県別比較を通じて－」大阪問題研究班『現代労働力の雇用構造・階層構造の統計的研究』 1993
- 「地方圏における人口・階層変動－過疎・高齢化先進地島根県について－」大阪問題研究班『現代労働力の雇用構造・階層構造の統計的研究』 1993
- "Workers' Health and Working Conditions in Japan, the United States and Europe: A Trial of Statistical Comparison", *Journal of Economics*, No. 20, Shimane University, 1994

藤川 清史 フジカワ キヨシ

- (資料)「中期財政モデルによる1989年度税制改革の分析(下)」『大阪経大論集』大阪経済大学 42-5, 1992
- (共)「日本経済と社会保障(年金と医療)の計量モデル(上)－数量分析の試み－」『大阪経大論集』大阪経済大学 42-6, 1992
- (共)「日本経済と社会保障(年金と医療)の計量モデル(下)－数量分析の試み－」『大阪経大論集』大阪経済大学 43-1, 1992
- (共)「日米の生産費較差の発生要因－産業連関分析の応用例－」『大阪経大論集』大阪経済大学 43-6, 1993
- (共)「費用構造の国際比較－日本, アメリカ, 西ドイツを例にとった産業連関分析－」『大阪経大論集』大阪経済大学 44-4, 1993
- (共)「付加価値基準に基づく国産化率の測定－『国産の経済学』構築に向けて－」『大阪経大論集』大阪経済大学 44-5, 1994
- 「日本経済と社会保障の計量モデル(1994年改訂版)」『大阪経大論集』大阪経済大学 45-3, 1994
- (研究ノート)「中国の環境問題への産業連関分析の応用: 二酸化炭素排出量削減の可能性」『大阪経大論集』大阪経済大学 45-6 1995

藤田 昌也 フジタ マサヤ

- 「資本勘定の成立についての一考察」『経済学研究』九州大学 56-5・6, 1991
- 「減価償却論覚書」『経済学研究』九州大学 60-3・4, 1994

藤原 新 フジワラ アラタ

- 「ケインズ『一般理論』における使用費用概念の再評価」『立教経済学論叢』立教大学大学院経済学研究会 35号, 1989
- 「ケインズ『蓋然性論』からみた『一般理論』の今日的意義－資本の限界効率を再考する－」『立教経済学研究』立教大学 45-4, 1992

(共訳) 「アルフレッド・マーシャル『国際貿易の財政政策に関する覚え書き(1903年)』(上)」『立教経済学研究』立教大学 47-2, 1993

(共訳) 「アルフレッド・マーシャル『国際貿易の財政政策に関する覚え書き(1903年)』(中)」『立教経済学研究』立教大学 47-3, 1994

【ホ】

堀口 健治 ホリグチ ケンジ

「米国農業における土地問題の顕在化」『早稲田政治経済学雑誌』早稲田大学 307・308号, 1992  
(書評) 越沢明『東京の都市計画-東京都市計画物語』、『早稲田政治経済学雑誌』早稲田大学 311号, 1992

「土地下落と農地市場の変化」『早稲田政治経済学雑誌』早稲田大学 312号, 1992

「土地関連融資と信用連鎖の弱い環(上)」『早稲田政治経済学雑誌』早稲田大学 314号, 1993

【マ】

前田 修也 マエダ シュウヤ

「ローレンツ曲線の歪度測定とその応用」『東北学院大学論集 経済学』東北学院大学 110, 1989

松川 太郎 マツカワ タイチロウ

「マクロ経済指標にたいする購買力平価の方法論」『経済学論集』鹿児島大学 37号, 1992

【ミ】

水野 勝之 ミズノ カツユキ

「システムワイド・アプローチにおける攪乱項の統計的研究」『商経論集』北九州大学 23-3, 1988

(資料・訳) ルネ・カピテリ著『スイスの金利構造-周波数領域における因子分析アプローチ-』(その2)  
『商経論集』北九州大学 23-3, 1988

「ディビジア指数と貨幣数量説」『商経論集』北九州大学 24-1, 1988

「回帰分析(1)」『商経論集』北九州大学 24-1, 1988

「回帰分析(2)-重回帰-」『商経論集』北九州大学 24-2, 1988

「貨幣需要関数に関する一考察(上)-ディビジア指数の適用-」北九州大学 24-3, 1989

「貨幣需要関数に関する一考察(下)-ディビジア指数の適用-」北九州大学 24-4, 1989

水野 裕正 ミズノ ヒロマサ

「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和60-61年」『創価経済論集』創価大学 Vol. XIX, No. 2, 1989

「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和61-62年」『創価経済論集』創価大学 Vol. XX, No. 1, 1990

「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和60-63年」『創価大学経済学部 20周年記念論文集』



- 創価大学 Vol. XX, No. 2. 3. 4, 1991  
「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和60-平成2年」『創価経済論集』創価大学 Vol. XXI  
No. 3・4, 1992  
「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和63-平成2年」『創価経済論集』創価大学 Vol. XXII,  
No. 2・3, 1993  
「消費者物価と卸売物価との乖離分析、昭和2-平成3年」『創価経済論集』創価大学 Vol. XXIII,  
No. 4, 1994

御園 謙吉 ミソノ ケンキチ

- 「高橋財政期の三菱重工業」『一橋論叢』一橋大学 96-3, 1986  
「1965年不況の特質-国債発行との関連で」『一橋研究』一橋大学 12-1, 1987  
「1965年不況下の企業経営と国債発行」『一橋論叢』一橋大学 100-1, 1988  
「戦時統制経済期における独占的重工業資本の蓄積過程-三菱重工業を中心に」『企業法研究』  
創刊号 名古屋経済大学 1989  
(共) 「年表 昭和史」岩波書店 1989  
「国家独占資本主義論とレギュレーション理論」『企業法研究』名古屋経済大学 3号, 1990  
(共) 『社会・経済統計ガイドブック』大月書店 1992  
「主要企業財務統計の整備状況と利用可能性(上)」『社会科学論集』名古屋経済大学・市邨学園  
短期大学 1992  
「主要企業財務統計の整備状況と利用可能性(下)」『社会科学論集』名古屋経済大学・市邨学園  
短期大学 1993

光藤 昇 ミットウ ノボル

- 「『経済福祉』指標の理論的背景とその問題点」『統計学』経済統計学会 32号, 1977  
「指数式要因分析法による産業別収益変動分析」『統計学』経済統計学会 38号, 1980  
「『物的』生産性の国際比較について-行沢が用いた手法の再検討」『統計学』経済統計学会 43号,  
1982  
「国際所得国富学会(IARIW)19回総会に参加して-新SNAの1990年改訂へ向けての議論の  
動向について」『統計学』経済統計学会 51号, 1986  
(共) 『愛媛県ニュービジネス実態調査報告書』愛媛県 1986  
「1990年改訂SNAの構造に関するオランダ提案の積極面と消極面」『松山商大論集』松山商科大  
学 38-1, 1987  
「国連の改訂SNAの構造に関する Van Tongeren 提案および Viet 提案について」『松山商大  
論集』松山商科大学 39-2, 1988  
「国際所得国富学会(IARIW)21回総会に参加して-環境勘定などサテライト勘定の開発の進  
展」『統計学』経済統計学会 59号, 1990  
「C I L I Nシステムによる福祉・生産性の国際比較に関する理論的諸問題について」『松山大学  
40周年記念論文集』松山大学 1990  
「改訂SNAとSAM(Social Accounting Matrix)について」『松山大学論集』松山大学 5-5,  
1993

三瀧 信邦 ミツマ ノブクニ

「ISC0-88」草案をみて『統計学』経済統計学会 53号,1988  
「被調査者の立場」『統計』日本統計協会 1,1988  
「A.ケトレーの平均人について」『城西大学大学院研究年報』5,1989  
「統計分類の昭和史」『統計』日本統計協会 6,1990  
「1991年の「事業所統計調査」を考える」『統計』日本統計協会 3,1991  
「日本標準統計分類の発達と国際標準分類」『城西大学大学院研究年報』7,1991  
「職業・産業分類」と「従業上の地位分類」『統計』日本統計協会 3,1992  
「杉亨二の五つの建白書」『統計学』経済統計学会 63号,1992  
「私の見た中国の社会経済事情」『日本経済の現状』学文社 1994  
「中国の大学における統計教育事情」『統計学』経済統計学会 66号,1994

宮崎 典彦 ミヤワキ ノリヒコ

(共) "On the Estimation Problem in the Analysis of the Time-dependent Poisson" 『経済志林』  
法政大学 61-2,1993

三輪 俊和 ミワ トシカズ

「イギリス経済についてのノート～1974年以後の経済成長と失業～」『商経論集』北九州大学  
24-1,1988

【モ】

森 博美 モリ ヒロミ

「アメリカにおける戦時下の報告徴集と統計調整」『経済志林』法政大学 57-1,1989  
「『連邦報告法』の法体系と統計調整」『経済志林』法政大学 57-2,1989  
"An Estimation of the Number of Unregistered Foreign Nationals in JAPAN (1975-88)",  
*ISI Proceedings of the 47th Session, Paris, 1989*  
「『統計報告調整法』の法体系と統計調整」『経済志林』法政大学 57-3,1989  
「川島孝彦と中央統計庁構想」『研究所報』法政大学日本統計研究所 16号,1989  
「指定統計調査の特質に関する一考察」『研究所報』法政大学日本統計研究所 16号,1989  
「承認統計調査の特質に関する一考察」『研究所報』法政大学日本統計研究所 16号,1989  
「わが国におけるリポート・コントロールと『統計調整』」『経済志林』法政大学 57-4,1990  
「わが国戦前期の統計基本法規について」大屋祐雪編『現代統計学の諸問題』産業統計研究社  
1990  
"An Estimate of the Inflow of Illegal Workers into Japan (1975-1988)", *Journal of  
International Economic Studies*, Hosei Institute of Comparative Economic  
Studies No.4 1990  
(訳)「消費者物価」R.ビーン編・法政大学日本統計研究所訳『国際労働統計』梓出版社 1990  
「統計法と統計行政」『経済志林』法政大学 58-1・2,1990  
「対外直接投資統計に関する一考察」『経済志林』法政大学 58-3・4,1991  
『統計法規と統計体系』法政大学出版局 1991  
「東南アジア地域における国際労働移動の現段階」『経済志林』法政大学 59-1,1991  
"Amendment of the Immigration Control System and its Impact on the Immigran Labour  
Inflow into Japan", *ISI Proceeding Book 2 of the 48th Session, Cairo 1991,*

pp. 463-464

- 「入管法改正と国際労働移動の最近の動向」『経済志林』法政大学 59-3, 1991  
「外国人の地域分布」法政大学日本統計研究所『統計研究参考資料』35, 1991  
「業務統計の作成論理とその構造」『経済志林』法政大学 59-4, 1992  
(共) 『統計ガイドブック』大月書店 1992  
"The Role of Immigrant Workers in the Adjustment Process of Labour Imbalance in Japan"  
『経済志林』法政大学 60-1・2, 1992  
"Immigrant Workers and Structural Change in the Contemporary Japanese Labour Market",  
United Nations University, *International Labour Migration in East Asia*, 1993, Tokyo.  
「日系ブラジル人の就労・生活実態調査」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 38,  
1993  
"A Survey of Japanese Brazilians' Working and Living Conditions in Japan", Japan  
Statistics Research Institute, *Statistical Survey Series*, No.2, 1993  
「統計資料論」『日本統計学誌』日本統計学会 22-3 (増刊号) 1993  
「統計体系からみたサービス業統計の現状について」『サービス経済化の実証的把握方策の検討』  
(財) 産業研究所, 1993  
「国際労働力移動」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』梓出版社 1993  
「日系ブラジル人の定住意識について」『研究所報』法政大学日本統計研究所 20, 1993  
"Brazilian Migrants of Japanese Ancestry in Japan", paper presented at the 49th  
session of ISI, 25 August-2 September Florence, Italy  
"On the Settlement Desire of Brazilian Migrants of Japanese Ancestry in Japan",  
*Statistical Survey Series*, Japan Statistics Research Institute, No. 3, 1993  
(共) "Structural Change and Labor Migration in East Asia", paper presented at OEDC Develop-  
ment Center Workshop on Development Strategy, Employment and Migration,  
OECD, Paris, 11-13, July 1994.  
"Migrant Workers and Labor Market Segmentation in Japan", *Asian and Pacific Migration  
Journal*, Vol. 3-4, 1994

## 【ヤ】

藪内 武司 ヤブウチ タケシ

- 「岐阜県経済の統計的分析」(Ⅱ)『地域経済』岐阜経済大学地域経済研究所 1989  
「日本の統計雑誌」杉原四郎編『日本経済雑誌の源流』有斐閣 1990  
『統計学総論』昭和堂 1994

山口 秋義 ヤマガチ アキヨシ

- (訳) 「ペレストロイカとソ連統計」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 32, 1989  
「ロシア中央統計局の成立(1918年)について」『法政大学大学院紀要』29, 1992  
「旧ソ連における労働生産性測定をめぐる」『経済学年誌』法政大学大学院経済学会 29, 1993  
「初期ソヴィエト・ロシアにおける統計報告制度の試みについて(1918~1921年)」『法政大学大  
学院紀要』32, 1994  
(共訳) 「ロシアにおける統計制度・政策の改革」『統計研究参考資料』法政大学日本統計研究所 41, 1994  
「所得分布不均等尺度に関する一考察」『経営経済論集』九州国際大学 1994

山下 正毅 ヤマシタ セイキ

- 「サテライト勘定の考え方」『横浜経営研究』横浜国立大学 Vol. X No. 4, 1990
- 「国連SNAの改訂について」『横浜経営研究』横浜国立大学 Vol. XII No. 1, 1992
- 「改訂SNAサテライト勘定」『横浜経営研究』横浜国立大学 Vol. XIII No. 4, 1993
- 「国連1993年SNAの構造」『横浜経営研究』横浜国立大学 Vol. XVI No. 1, 1995

山田 茂 ヤマダ シゲル

- 「『生活危険率』の測定とその原資料」『政経論叢』国士館大学 64号, 1988
- 「世論調査の実施環境の変化について」『統計学』経済統計学会 55号, 1988
- 「社会指標からみた都民生活」東京都情報連絡室『都民広聴』'89. 3, 1989
- 「国勢調査結果の評価に関する一考察」『政経論叢』国士館大学 68号, 1989
- 「わが国社会指標体系の課題」大屋祐雪『現代統計学の諸問題』産業統計研究社 1990
- 「『家計調査』結果の評価に関する一考察」『政経論叢』国士館大学 71号, 1990
- 「英日家計調査の評価に関する一考察」『経済研紀要』国士館大学経済研究所 2号, 1990
- 「被調査者からみた統計調査」『政経論叢』国士館大学 74号, 1990
- 「『教育』項目の統計調査結果の評価について」『政経論叢』国士館大学 78号, 1991
- (共)「生活」木下・土居・森編『統計ガイドブック』大月書店 1992
- 「国勢調査結果の評価の試み」『中央調査報』中央調査社 421号, 1992
- 「家計支出の日英比較(1)(2)」『中央調査報』中央調査社 429・430号, 1993
- (共)「官庁統計制度と統計調査の現状」『日本統計学誌』日本統計学会 22-3(増刊号) 1993
- 「1990年国勢調査結果の精度について」『統計学』経済統計学会 65号, 1993
- 「家計支出」伊藤・岩井・福島編著『労働統計の国際比較』梓出版社 1993
- (共) "Conducting Public Opinion Surveys in Japan", The World Association for Public Opinion Research, *International Journal of Public Opinion Research*, Vol. 6, NO. 2, 1994, Oxford University Press.

山田 貢 ヤマダ ミツグ

- 「労働分配率-剰余価値率との関連において-」『唯物史観』十月社 29, 1986
- 「経済計画の整合性とは何か」『経済論集』大東文化大学 44号, 1987
- (研究ノート)「消費者物価指数における銘柄変更の問題」『経済論集』大東文化大学 45号, 1988
- 「労働時間の国際比較-予備的考察-」『研究報告』大東文化大学日本経済研究所 2号, 1989
- 「西ドイツの労働協約について-労働時間問題と関連して-」『経済論集』大東文化大学 51号, 1990
- 「理論的概念の統計による実証について」『経済論集』大東文化大学 55号, 1992
- 「労働分配率の国際比較」『経済論集』大東文化大学 58号, 1993

山田 満 ヤマダ ミツル

- 「社会階級分析に関する諸テーゼ：階級構成表批判」『高崎商科短期大学紀要』高崎商科短期大学 1988
- 「統計調査の法-イデオロギ-的構造について：統計調査の社会的歴史的的分析に関する諸テーゼ (I)」『高崎商科短期大学紀要』高崎商科短期大学 1990
- (書評)「杉森混一著『人口分類と階級分析-フランスの社会職業分類』御茶の水書房、1991年」『統計学』経済統計学会 64号, 1993

山本 孝則 ヤマト タカノリ

- (退職記念講演要旨) 「信用貨幣の基本形態とその本質-信用貨幣論考-」『経済論集』大東文化大学  
50号, 1990  
「マルクス株式会社論・所有論の再生-現代資本主義論としての有井『所有理論』の意義と問題点-」『経済論集』大東文化大学 58号, 1993

山本 正 ヤマト タダシ

- 「ケトラーの統計理論-『平均人間』論を中心として-」『統計』日本統計協会 42-8, 1991  
「日本経済の当面する諸問題-日本経済の現状と将来-」『法経論集』静岡大学 69・70, 1993

【ヨ】

横本 宏 ヨコモト ヒロシ

- 「"ヤミ賞与"批判に欠けているもの」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1980, 3  
「生活問題としての情報被害」『国民生活研究』国民生活センター 24-4, 1985  
「消費停滞下でも離れ強まる」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1985, 4  
「乱塾の時代 教育費はかさむ」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1985, 4  
「乱塾から教育産業へ」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1986, 4  
「階層消費下で家計の借金増大」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1986, 4  
「教育費-受験戦争に勝つための費用か」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1987, 4  
「人権優先の報道を」『新聞研究』No. 428 日本新聞協会 1987  
「40代勤労者からみた生活問題」『国民生活研究』国民生活センター 27-2, 1987  
「教育にお金のかかる時代」『エコノミスト臨時増刊号』毎日新聞社 1988, 4  
「40代勤労者からみた生活問題(続)」『国民生活研究』国民生活センター 27-4, 1988  
(書評) 「松村祥子・岩田正美・宮本みち子『現代生活論』」『国民生活研究』国民生活センター 28-2, 1988  
「消費行動のソフト化・サービス化」『マーケティング・リサーチャー』日本マーケティング・リサーチ協会 No. 51, 1989  
「日本の長時間労働」『唯物史観』十月社 1989  
「消費者信用の変遷とキャッシュレス社会の今後」『家計経済研究』家計経済研究所 1989  
「労働者の生活を問い直す」『まなぶ』労働大学 No. 370, 1990  
「家計調査にみる購買行動の変化」『マーケティング・リサーチャー』日本マーケティング・リサーチ協会 1990  
「時短政策と統計からみた日本の労働時間」『明海大学経済学論集』明海大学 2-1, 1990  
(書評) 「暉峻淑子『豊かさとは何か』」『農林水産図書資料月報』'90/11, 1990  
「日暮れて道遠し」『波灯』留萌市文化団体協議会 3号, 1990  
「1800労働時間をめぐる諸問題」『社会主義』社会主義協会 325号, 1991  
「ほんとうに『不思議の国・ニッポン』」『波灯』留萌市文化団体協議会 4号, 1991  
「労働時間短縮で問われる大企業労組の奮起」『社会主義』社会主義協会 335号, 1992  
「日常化された"環境テロ"」『波灯』留萌市文化団体協議会 5号, 1992  
「遙かなる時短」『波灯』留萌市文化団体協議会 6号, 1993  
(共) 『豊かさへの接近-生活の立場から』産業統計研究社 1993  
(共) 『労働統計の国際比較』梓出版社 1993

「労働時間短縮をめぐる最近の諸状況」『社会主義』社会主義協会 364号、1994  
「偏差値をめぐる諸問題」『統計学』67号、1994

吉田 忠 ヨシダ タダシ

「スピノザ『偶然の計算について』」『北海学園大学経済論集』北海学園大学 36-3、1989  
「統計の構成論的性格と反映論的性格-とくに大屋祐雪氏の統計情報化過程論をめぐる」『統計学』経済統計学会 59号、1990  
「統計利用論における『視座』とその展開について」『統計学』経済統計学会 60号、1991  
「国勢調査事始め」『福井県史しおり』（資料編 17 統計）1993

吉田 央 ヨシダ ヒロシ

「いわゆる《Ruchti-Lomann効果》の経済学上の意味に関して」『経済理論学会年報』経済理論学会 27集、1990  
「資本の循環と費用」『経済論叢』京都大学 146-4、1990  
「再生産論における『素材』の位置」『経済論集』京都大学経済論集編集委員会 2号、1991  
「資本の回転と利潤率」『経済理論学会年報』経済理論学会 28集、1991  
「資本回転時間の計測とその変動要因の一考察」『統計学』経済統計学会 61号、1991  
「資本回転時間の構造分析」『経済論集』京都大学経済論集編集委員会 5号、1992  
「環境統計の制度化」『東京農工大学一般教育部紀要』東京農工大学一般教育部 30、1994  
(共)「ミシガン湖での磷の排出権取引の例」植田 和弘(代表者)ほか『汚濁負荷削減のための経済的政策手段の研究(滋賀県琵琶湖研究所委託研究報告)』滋賀県琵琶湖研究所 1994

良永 康平 ヨシナガ コウヘイ

「付加価値税と産業連関表」『関西大学経済論集』関西大学 39-6、1990  
「産業連関表による西ドイツ経済の構造変化分析—1980年代を中心に—」『関西大学経済論集』関西大学 40-3、1990  
「スウェーデンの産業連関表—沿革、特性、分析—」『関西大学経済論集』関西大学 41-2、1991  
「産業連関表における価格評価問題—産業連関表の比較可能性に関する一実証研究—」『関西大学経済論集』関西大学 42-1、1992  
「EC国際産業連関表の作成と分析—1985年英独仏国際産業連関表—」『関西大学経済論集』関西大学 42-4、1992  
(訳) C. Stahmer「環境・経済統合勘定—国連草稿に関する概観—」『関西大学経済論集』関西大学 44-2、1994  
「スペイン経済のEC域内化—産業連関分析によるアプローチ—」『関西大学経済論集』関西大学 44-4、1994

吉野 紀 ヨシノ オサム

「寡占下における企業の価格行動」『駒沢大学経済学論集』駒沢大学 20-1、1988

吉信 肅 ヨシノブ ススム

- 「リカード『比較生産費説』の論理構造とそれをめぐる最近の解釈批判(Ⅰ)」『関西大学商学論集』関西大学 35-1, 1990
- 「リカード『比較生産費説』の論理構造とそれをめぐる最近の解釈批判(Ⅱ)」『関西大学商学論集』関西大学 35-2, 1990

李 潔 リ ジ

- 「中国産業連関表による価格体系分析」『立命館経済学』立命館大学 38-2, 1989
- 「79～87年I-0表による中国価格体系の実証分析」『立命館経済学』立命館大学 40-5, 1991
- 「中国エネルギーのボトルネック解消と物価上昇—エネルギー価格引上げによる物価への波及効果の計測—」『立命館経済学』立命館大学 41-2, 1992
- 「I-0表による中・日環境問題の分析—化石燃料の消費による汚染物質の発生—」『立命館経済学』立命館大学 43-2, 1994

六波羅 詩朗 ロクハラ シロウ

- (共・調査報告) 「『ふれあいランチ』サービス(上田市社会福祉協議会・有料給食サービス)調査報告」『長野大学紀要』長野大学 11-1, 1989
- 「イギリスと日本の公的扶助制度の比較」『長野大学紀要』長野大学 13-2・3, 1991
- 「在宅介護支援センターの位置と役割」『長野大学紀要』長野大学 15-4, 1994
- 「福祉事務所の役割と課題(上) —福祉事務所の成立から展開へ—」『長野大学紀要』長野大学 16-1・2, 1994